

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

事業報告

令和7年度は、概ね通常通りの事業実施を行うことができたと同時に、動きの多い一年でもありました。特徴的な部分としましては、まず、枚方市立総合福祉会館の指定管理者として最終年度となり、次期指定管理者の募集にエントリーを行った結果、令和8年度から12年度の指定管理者として引き続きラポールひらかたを運営することになりました。エントリーに際しては、新たに本会を代表団体とする「LINKひらかた共同事業体」を組成し、令和7年度末まで運営してきた「HUG共同事業体」から組成メンバーの変更も行いました。次に「地域包括支援センター社協こもれび」の撤退につきましては、令和8年3月31日をもって無事撤退事務を完了し、新たな運営法人への引継ぎも完了しました。

各課運営事業に関しましては、まず地域福祉課では、地域福祉に関する各種事業に積極的に取り組みました。中でも、CSW配置（多機関協働等）事業では、近年続く傾向として特に多機関協働とアウトリーチ（訪問相談）の需要が多く、本会のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）は、多くの市民から幅広い生活上の相談に対応しました。また、令和7年度に策定した第7次地域福祉活動計画の初年度として各種重点項目に取り組みました。ボランティアセンターでは、昨年度に続き2回目の能登半島地震被災地を支援するボランティアバスを運行しました。

生活支援課では、権利擁護・成年後見センター（こうけんひらかた）の運営、福祉サービス利用援助事業の待機者解消、生活福祉資金貸付事業など、市民の権利擁護や生活支援に関する各種事業に積極的に取り組みました。中でも令和6年10月からスタートした「持続可能な権利擁護支援事業（縁ディングサポート事業）」は利用者が7名となり、更に相談が増えてきている状況です。また、生活福祉資金貸付事業につきましてもコロナ禍以降、相談者が増加しており、中でも緊急小口資金や教育支援資金の貸し付け相談が目立ちました。コロナ特例貸付の債務者フォローアップ事業も返済や家計に関する相談など、幅広く対応しました。

在宅福祉課では、主に障害者福祉に関する事業を実施しました。中でも、共同生活援助事業につきましては中期的なグループホームの撤退方針により再編を行い、運営していた4か所のグループホームを3か所に縮小しました。ただ、移動支援事業や居宅介護等事業では人材不足が常態化しているため、前年度に引き続きその解決と知的に障害がある人の理解を広める活動を兼ねて、YouTubeやInstagramを活用したショート動画等で事業内容を紹介するなど、積極的な広報を継続しました。「ふれあいスポーツ交流会」「ジョイフルクリスマス会」の両イベントも例年通り開催し、こちらも前年度に続き多くの参加者でにぎわいました。

総務課では、安定した法人運営に努めるとともに、こちらも昨年度から運営している家庭や学校に居場所のない子ども達のサードプレイスとしての「児童育成支援拠点事業（こどもスペースふらっと）」の運営を行いました。この事業は、枚方市まるっと子どもセンターとの緊密な連携のもと、登録者、利用者ともに増加し、子どもたちの貴重な居場所としての役割を果たしました。

法人全般の経営状況としては、前年度に引き続き全体的な人材不足感は拭い去れず、収支に関しても人件費を含む物価高騰による悪化が顕著になってきています。ただ、「経営戦略プログラム第4期」の4年目として、引き続き重点項目を実現すべく各種取り組みを継続し「事業戦略」「財務戦略」「人事戦略」に則り、安定した財務状況と人材確保を図るべく各種取り組みを積極的行いました。

1. 法人運営事業

(1) 理事会開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
5/29	ラポールひらかた 研修室1	・在宅福祉サービス部会の報告について ・令和6年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について ・理事候補者の評議員会提出について ・評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催について ・令和7年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第1回）について ・評議員会の招集について ・社会福祉充実計画について（報告） ・目的別積立金について（報告） ・基金・積立金について（報告）	理事 13 監事 1
6/24	ラポールひらかた 大研修室	・会長、副会長及び常務理事の選任について ・理事の役割分担について	理事 11 監事 1
9/8	ラポールひらかた 研修室1	・会長、常務理事の職務執行状況について（報告） ・理事候補者の評議員会提出について ・令和7年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第2回）公益事業区分収入支出補正予算（第1回）について ・枚方市社会福祉協議会職員の給与改定について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改定について ・枚方市社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改定について ・枚方市社会福祉協議会育児休業等に関する規則の一部改定について ・枚方市社会福祉協議会介護休業等に関する規則の一部改定について ・評議員選任・解任委員の選任について ・評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員会の招集について ・組織会員の入会について ・基金・積立金について（報告） ・公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）の募集について（報告）	理事 12 監事 2
9/29	ラポールひらかた 大研修室	・副会長の選任について ・理事の役割分担について	理事 13 監事 2
12/12	ラポールひらかた 研修室1	・法人経営部会・在宅福祉サービス部会合同部会の報告について（報告） ・令和7年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第3回）について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・定年退職及び定年前早期退職後の再雇用職員給与に関する規則の一部改正について ・評議員会の招集について ・基金・積立金の状況について（報告）	理事 14 監事 2

		・枚方市立総合福祉会館の次期指定管理者について（報告） ・能登半島地震災害ボランティアバスの運行報告（報告）	
3/13	ラポールひらかた 研修室1	・法人経営部会の報告について（報告） ・会長・常務理事の職務執行状況について（報告） ・共同募金配分金事業 令和8年度の配分計画（案）について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の全部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の全部改正について ・枚方市社会福祉協議会育児休業等に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会介護休業等に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会定年退職及び定年前早期退職者の再雇用職員の給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・令和7年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第4回）について ・評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員会の招集について ・令和8年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・グループホーム再編に至る経過について（報告） ・基金・積立金の状況について（報告）	理事 8 監事 0

（２）部会開催状況

法人経営部会

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
12/5	ラポールひらかた 集会室	・グループホームの縮小と在宅福祉課総合新規事業について	8
3/6	ラポールひらかた 集会室	・共同募金配分金事業 令和8年度の配分計画（案）について ・基金の運用について ・社協だより発行に関する現状と課題	5

（３）評議員会開催状況

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
6/24	ラポールひらかた 大研修室	・令和6年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について ・令和7年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第1回）について ・役員の選任について ・各種規程・規則の改正について（報告）	評議員 26 理事 12 監事 1

9/29	ラポールひらかた 大研修室	・理事の選任について ・令和7年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第2回）公益事業区分収入支出補正予算（第1回）について ・各種規則・規程の改正について（報告）	評議員 30 理事 11 監事 2
12/22	ラポールひらかた 大研修室	・令和7年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第3回）について ・各種規則・規程の改正について（報告） ・枚方市立総合福祉会館の次期指定管理者について（報告）	評議員 28 理事 13 監事 2
3/23	ラポールひらかた 大研修室	・令和7年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第4回）及び公益事業区分収入支出補正予算（第2回）について ・令和8年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・各種規則・規程の改正について（報告）	評議員 28 理事 11 監事 2

（４）枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム（第４期）の策定（Ｒ４年度～Ｒ８年度）

令和３年度に策定した、第４期プログラムの重点項目に定めた内容に従い、実現に向けた取り組みを着実にを行った。計画の進捗状況をチェックするための評価会議も設置した。

令和７年度は、「財務戦略」に基づき財務の安定化を図るとともに、「人事戦略」として市内大学を中心とした職業講話の実施および SNS アカウントの活用による人材確保に取り組んだ。

（５）第７次地域福祉活動計画（Ｒ７年度～Ｒ１１年度）

第７次地域福祉活動計画の初年度として進捗状況報告や地域での活動状況の共有を行う「ふくしのまちづくり円卓会議」を１回開催した。CSW による地域支援として、社会福祉施設との連携や CSW の出張相談会に関する内容を報告、また計画の評価方法の検討を行い、各委員から意見、評価をいただいた。

（６）公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）助成事業

市民が自らの力で福祉課題を解決していくことを支援するため、令和７年度分公募事業助成基金「市民ふくし活動チャレンジ基金」の助成団体を募集。問い合わせは複数寄せられたものの、最終的に申請には至らなかった。

また、市内で活動するテーマ型福祉活動団体の横のつながりを強化することを目的に交流会を開催。16 名が参加し、持続可能な運営のあり方を検討するとともに、活動を進める上での課題やニーズについて情報共有を行った。

（７）広報活動

①社協だよりの発行

（単位：部）

号	発行日	印刷部数	号	発行日	印刷部数
168	6/1	190,400	169	9/1	191,030
170	12/1	190,630	171	3/1	190,830

※年４回発行、「広報ひらかた」と同時に、市内全戸配布

②ホームページ・SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による広報

- ・ホームページを中心に SNS [Facebook・X（旧 Twitter）・YouTube・LINE・Instagram] を活用した発信を行った。

（８）ひらかた社協ふくしフェスティバル

第 14 回ひらかた社協ふくしフェスティバルを開催。市内のボランティアグループや福祉団体、本会の組織会員、公募事業助成基金の助成団体などと連携し、福祉を身近に感じてもらうことを目的に実施した。会場はラポールひらかた全館と枚方市総合文化芸術センターの芝生エリアなどを使用し、幅広い世代が気軽に参加できる内容とした。

- (日 時) 令和7年11月8日(土) 午前10時～午後3時
(場 所) ラポールひらかた
(主 催) 枚方市社会福祉協議会 (後 援) 枚方市
(共 催) 枚方市総合文化芸術センター
(参加者) 約800人
(内 容) *ボッチャ大会「ひらかた社協カップFinal」を開催
*キッチンカーや模擬店、チアリーダー、吹奏楽のステージ
*ボランティアグループ、各種団体の活動紹介や啓発等

(9) 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル

枚方市の健康・福祉推進都市宣言の趣旨を踏まえ、「明日の健康のために」～考えよう健康のこと～をテーマに、市民の健康・医療と福祉に対する意識の高揚を図り、自ら健康づくりを実践する機運を高めることを目的に「第34回枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催。本会も主催者として参画した。

- (日 時) 令和7年10月26日(日) 午前10時～午後3時30分
(場 所) ラポールひらかた、枚方市総合文化芸術センター施設前広場
(主 催) 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル実行委員会
(枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、枚方市、枚方市社会福祉協議会)
(参加者) 延べ 6,817人
(内 容) 健康測定・相談コーナー(血糖値測定・肌年齢測定・咀嚼力判定等)、ウォーキングイベント、カラダ発見縁日「測定チャレンジイベント」、模擬店等を実施。

(10) 善意銀行事業

善意銀行金銭口座収支計算書

(単位：円)

収 入		支 出		
前年度繰越金	4,868,961	指 定 預 託	福祉施設団体等	20,000
一 般 預 託	0			
指 定 預 託	20,000			
預 金 利 息	0			
計	4,888,961	計		20,000

収入・支出残金 4,868,961円は、次年度へ繰り越し。

(11) 枚方市民生委員児童委員協議会の運営支援

民生委員・児童委員は住民の身近な相談相手であり、支援を必要とする人と専門機関をつなぐパイプ役を務めている。民生委員・児童委員が地域で円滑に活動が行えるよう、事務局として民児協の運営を支援した。12月には一斉改選により421人が委嘱され、新任委員を含めて民生委員・児童委員活動について理解を深める支援を行った。

実 施 日	事 業 内 容
4/7	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式
4/10	新任民生委員児童委員研修会
4/28	役員会・校区委員長会
4月第4週	会計監査 地区委員会(15地区)
5/8	役員会・校区委員長会
5月第4週	地区委員会(15区)
6/12	役員会・校区委員長会
6/17	認知症研修 映画上映「長いお別れ」
6月第4週	地区委員会(15地区)
7/1	民児協ひらかた151号発行
7/10	役員会・校区委員長会
7/14～15	地区リーダー管外研修会(香川県) 研修先「讃岐おもちゃ美術館」

7月第4週	地区委員会（15地区）
8/6	夏休み児童映画大会「野生の島のロズ」
9/11 9/16 9月第4週	役員会・校区委員長会 座談会 地区委員会（15地区）
10/1 10/9 10月第4週	子育てサロンゆりかご 役員会・校区委員長会 地区委員会（15地区）
11/7 11/8 11/13 11月第4週	枚方市民生委員・児童委員大会 研修：「災害よもやま話」 講師：露のききょう氏 「児童虐待防止啓発活動」（ひらかた社協ふくしフェスティバル） 役員会・校区委員長会 地区委員会（15地区）
12/3 12/10 12/11 12/15 12/17、20 12月第4週	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式 退任者感謝状贈呈式 役員会・校区委員長会 地区委員長・校区委員長研修 新任民生委員児童委員研修会 地区委員会（15地区）
1/1 1/14、22 1/30	民児協ひらかた第152号発行 全体研修 河北ブロック民生委員児童委員協議会連絡会総会
2/12 2/24 2月第4週	役員会・校区委員長会 座談会 地区委員会（15地区）
3/6 3/12 3/26	予算ヒアリング 役員会・校区委員長会・総会リハーサル 総会（予算・事業計画）・研修会 研修「ダウン症のマリンバ奏者～多田駿介～」 お話：多田 千景氏 演奏：多田 駿介氏

（１２）枚方市赤十字奉仕団の運営支援

人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動の推進を図るため、枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。赤十字運動をはじめ、健康生活支援員養成講習の開催、街頭募金の実施など、広く市民に赤十字活動を啓発することに努めた。

活動資金募集の実績（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

枚方市地区分 8,797,639円

府支部直送分 7,326,108円

合 計 16,123,747円

奉仕団活動状況

・役員会 5/19、6/18、9/10、2/18に実施

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/27	ラポールひらかた 研修室 1	連合分団長会議 ・令和 6 年度赤十字活動資金募集実施状況について ・令和 6 年度事業報告及び決算報告について ・令和 6 年度監査報告について ・役員改選について ・赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会について	32
7/30	枚方市総合文化 芸術センター別館 (旧メセナひらかた)	枚方市赤十字奉仕団全体研修会 一部：「赤十字のしくみと活動」 講師：日本赤十字社大阪府支部 振興課 二部：特別基調講演「生きていく為の人間力」 講師：落語家 月亭八光氏	178
10/7 10/14 10/21	ラポールひらかた 研修室 1	日赤健康生活支援員養成研修会	23
10/22	ラポールひらかた 研修室 1	連合分団長会議 ・令和 7 年度赤十字活動資金の中間報告について ・地域活動助成金について ・枚方市赤十字奉仕団大会について ・枚方市赤十字奉仕団全体研修会報告	27
12/2	ラポールひらかた 大研修室	枚方市赤十字奉仕団大会 一部：社長感謝状、金・銀有功章などを、日赤枚方市地区長から表彰状を授与された。 二部：研修会 テーマ：「国際赤十字・赤新月運動館から広がる人道の輪ーEXP02025 大阪・関西万博ー」 講 師：日本赤十字社大阪府支部 事務局付部長 新谷 隆博 氏	70
3/17	ラポールひらかた 研修室 1	連合分団長会議 ・令和 7 年度赤十字活動資金募集の報告について ・令和 8 年度事業計画・予算案について ・令和 8 年度赤十字運動について ・地域奉仕団活動助成金交付要領について	27

部会活動状況

(ア) 婦人部会

・役員会 5/29・11/13・2/5 に実施

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/27	ラポールひらかた 研修室 1	婦人部会会議 ・役員改選（副部会長）について ・令和 6 年度事業報告について ・令和 7 年度婦人部会事業計画（案）について	14

11/27	ラポールひらかた 研修室 1	婦人部会会議 ・令和 7 年度 枚方市赤十字奉仕団大会について ・令和 8 年度への取り組みについて ・土のう袋で被災地の応援企画について	13
3/4	ラポールひらかた 研修室 2	婦人部会会議 ・令和 8 年度婦人部会事業計画（案）について ・令和 8 年度婦人部会予算（案）について ・婦人部会会員名簿の提出について	12

（イ）家庭看護部会

・役員会 4/1 ・10/7 に実施

※参加協力事業

（単位：人）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/15	ラポールひらかた	全体会	18
5/20	ラポールひらかた	（枚方市出前講座）女性のがんについて	12
6/3	枚方市駅前	日赤活動資金街頭募金	12
6/17	ラポールひらかた	防災セミナー災害エスノグラフィー	15
7/1	中宮浄水場	管外研修 中宮浄水場見学	12
7/15	ラポールひらかた	心肺蘇生法・AED（日赤大阪府支部）	12
9/2	ラポールひらかた	（枚方市出前講座）民生委員・児童委員てどんな人？	15
9/16	ラポールひらかた	日赤健康生活支援講習 事故予防急病対応コース	14
10/1	枚方市駅前	赤い羽根共同募金街頭募金の協力	3
11/4	ラポールひらかた	（枚方市出前講座）ネット社会の護身術	15
11/8	ラポールひらかた	ひらかた社協ふくしフェスティバルに参加	12
11/18	ラポールひらかた	赤十字幼児安全法	14
12/16	ラポールひらかた	赤十字健康生活支援講習 認知症コース	14
1/20	ラポールひらかた	全体会	18
2/3	ラポールひらかた	赤十字健康生活支援講習 健康増進体操コース	9
2/17	ラポールひらかた	赤十字健康生活支援講習 災害時高齢者生活支援講習	9
3/3	ラポールひらかた	（枚方市出前講座）地球温暖化対策について	9

3/17	ラポールひらかた	赤十字健康生活支援講習 高齢者支援コース	11
------	----------	----------------------	----

(13) 枚方・交野地区保護司会の運営支援

保護司の職務を支援する組織として枚方・交野保護区(枚方市・交野市)の範囲で活動を行う枚方・交野地区保護司会の事務局として、定期研修(年4回)・理事会・定例会等の定期事業の他に、視察研修(管外研修・管内研修)の調整支援や更生保護関係組織(更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会など)との連携支援、7月を強調月間とする「第75回社会を明るくする運動」の運営支援を行った。

また、地域更生保護活動の拠点でもある「枚方・交野地区更生保護サポートセンター」を運営し、保護司の処遇活動の支援のほか、地域の教育・防犯・社会福祉関係機関や団体との連携、犯罪・非行の予防活動、更生保護関係の情報提供を行った。令和7年12月に保護司法が改正され、1年以内の施行に向けて、新制度の導入に伴う情報収集を行った。保護司現員数は95人(令和8年3月31日現在)

①定期事業 (総会・定例会・研修事業など)

月日	場 所	内 容
4/1	交野市立保健福祉 総合センター	調整会議 *2か年計画・理事体制について
4/10	ラポールひらかた	調整会議・理事会 *定例会提出案件について
4/17	枚方市総合文化芸術センター別館 (旧メセナひらかた)	定例会 *各部からの報告
		部 会 *各部の活動について
5/9	ラポールひらかた	会計監査 *令和6年度 事業報告・決算 監査
5/16	ラポールひらかた	調整会議・理事会 *決算総会・定例会提出案件について
5/29	ラポールひらかた	決算総会 *令和6年度事業報告・決算報告・監査報告
		定例会 *第75回社会を明るくする運動について 他
		新任保護司地区研修
6/12	ラポールひらかた	調整会議・理事会 *河北ブロック連絡協議会、更生保護団体合同研修会について 他
6/19	ラポールひらかた	第1期定期研修 『薬物事犯者の処遇について』
		定例会 *第75回社会を明るくする運動について 他
		新任保護司地区研修会
7/10	ラポールひらかた	調整会議・理事会 *定例会提出案件について *第75回社会を明るくする運動(式典・講演会)報告
7/18	ラポールひらかた	定例会 *第75回社会を明るくする運動(式典・講演会)実施結果報告 他
		各部会 *各部の活動について
8/18	交野市立保健福祉 総合センター	調整会議・理事会 *合同研修会・定例会案件について
8/21	交野市立保健福祉 総合センター	合同研修 保護司会・更生保護女性会・BBS・協力雇用主会合同研修 1) 活動報告『薬物乱用防止推進員の活動について』 2) 講 演 『愛をもって明るい社会を』 講師：更生保護法人 盟親 施設長 松平 正守 氏
		定例会 *各部からの報告
8/29	ラポールひらかた	調整会議 *管外研修について 他
9/17～ 9/18	石川県金沢・能登	管外研修 1) 施設視察 金沢刑務所・湖南学院 2) 交流研修 七尾・鹿島保護区保護司会
10/9	交野市立保健福祉 総合センター	調整会議・理事会 *定例会案件について 他
10/16	交野市立保健福祉 総合センター	第2期定期研修 『更生保護における新規施策について』
		定例会 *退任保護司紹介・再任保護司委嘱状伝達・各部の報告
10/30	岸和田市立浪切ホール (南無殿切ホール)	令和7年度 大阪更生保護大会
11/13	ラポールひらかた	調整会議・理事会 *管内研修・新年度行事予定・定例会提出案件について

11/21	ラポールひらかた	調整会議 *受賞者祝賀会について
11/27	ラポールひらかた がんこ寿司枚方店	特別研修(管内研修)・定例会 *S S T研修/コインマップ 受賞者祝賀会
12/11	交野市立保健福祉 総合センター	調整会議・理事会 *定例会提出案件・定期研修について
12/18	交野市立保健福祉 総合センター	第3期定期研修 テーマ『事例研究(複数指名を行ったケースについて)』 各部の報告
R8 1/6	ホテルモントレ ラ・スール大阪	枚方・交野地区保護司会 新年互礼会
1/29	ラポールひらかた	調整会議・理事会 *定例会提出案件・定期研修について
2/9	ラポールひらかた	予算編成会議
2/12	交野市立保健福祉 総合センター	第4期定期研修 テーマ：『ゲートキーパー研修』～基礎情報編・ロールプレイ編～ 講師：交野市 福祉部 福祉総務課職員 定例会 *委嘱状の伝達・各部の報告について
2/18	更生保護サポートセンターひらかた	調整会議 *地方再犯防止推進計画について 新任保護司地区研修
3/11	ラポールひらかた	調整会議・理事会 *令和8年度 事業計画・予算(案)
3/19	ラポールひらかた	予算総会 *令和8年度 事業計画・予算(案) 定例会 *各部の報告について

②候補者検討協議会の開催(12回)

[北部] 4/21、9/9 [中部] 4/21、11/20 [南部] 5/25、12/12 [東部] 5/19、12/12 [交野] 3/27

③更生保護啓発活動

月 日	場 所	内 容
5/9	ラポールひらかた	枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会 *第75回社会を明るくする運動について
7/2	枚方市総合文化 芸術センター	第75回枚方・交野地区社会を明るくする運動 *アトラクション 関西外国語大学吹奏楽部 *式典 *講演『共に生きるということ～私がそばにいるから～』 講師：公認心理師/精神保健福祉士 高部知子氏
7月～9月		*啓発パネルの協賛 851枚 *第75回社会を明るくする運動作文コンテスト(小中学生対象) 応募数 1,032点 *両市中学3年生に、社明運動ロゴ入りクリアファイル配布 5,700枚 *街頭啓発 京阪・JR各2駅で除菌ウェットティッシュを配布 6,400個

④関係団体との連携・懇談など

- ・関係団体(更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会、河北ブロック連絡協議会等)：3回
更生保護女性会 総会(4/24)、河北ブロック連絡協議会(6/20)、合同研修(8/21)
- ・学校との連携事業：6回
長尾西中(7/9)、枚方第三中(7/11)、蹉跎中(7/14)、楠葉西中(7/28)、山田中(8/1)
津田中(9/10)、枚方第二中(12/10)
- ・矯正施設との連携：2回
交野女子学院後援会総会(6/17)

⑤薬物乱用防止教室：0回

⑥広報活動

- ・広報誌「みのり」の発行 第97号(7/1) 2,400部、第98号(1/1) 3,000部
- ・ホームページの更新

- ・市広報等への掲載 * 「広報ひらかた」 6月号・8月号 * 「広報かたの」 7月号
* 枚方市スマホアンケート(6月)「更生保護・社明運動について」

⑦更生保護サポートセンターの運営

- ・名 称 「枚方・交野地区更生保護サポートセンター（ひらかた・かたの）」
- ・開館日時 サポートセンター（ひらかた）火・水・木・土・日曜日 10時～16時
サポートセンター（かたの）月・火・木・金・土曜日 10時～16時
※年末年始及び国民の祝日、その他会長が指定する日を除く
- ・所在地 サポートセンター（ひらかた）サンプラザ1号館201号室
サポートセンター（かたの）交野市立保健福祉総合センター（ゆうゆうセンター）
- ・開館状況 ☐開館日数 延べ459日 ☐企画調整保護司の従事者数 延べ918人
☐対応件数 193件 ☐来所者数 325人
- ・企画調整保護司会議 ☐枚方開催6回、交野開催4回

（14）枚方市社会福祉施設地域貢献連絡会の運営支援

市内の社会福祉法人が、連携・協力し、今日的な福祉課題の解決に向けた取り組みを行うことを目的に活動。例年取り組んでいる施設職員と社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーと連携した出張相談会（2回延4日間）を実施。研修会を計3回実施し、うち1回は会員の他に民生委員や校区福祉委員会も対象として社会福祉施設と地域や関係団体とのネットワーク構築のきっかけとなった。

加入法人：58法人（令和8年3月31日現在）

①総会の開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
5/28	ラポールひらかた大研修室	・第1号議案 令和6年度 事業報告について ・第2号議案 令和6年度 決算について ・第3号議案 令和7年度 事業計画(案)について ・第4号議案 令和7年度 予算(案)について ・第5号議案 役員の改選について	19法人 30法人が委任状

②役員会の開催状況

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
4/28	ラポールひらかた研修室3	・令和6年度事業報告及び決算について ・令和7年度事業計画及び予算について ・助成金について ・令和7年度総会について ・地域貢献活動に関するアンケートについて	7
5/28	ラポールひらかた特別会議室1	・総会について ・今後の予定について	9
7/29	ラポールひらかた特別会議室1	・福祉なんでも出張相談会（イズミヤ）について ・助成金について ・研修会アンケートについて	6
9/22	ラポールひらかた集会室	・普通救命講習会について（報告） ・福祉なんでも出張相談会（イズミヤ）について ・食料支援について ・アウトリーチ型研修会について ・研修会アンケートについて	7
10/27	ラポールひらかた集会室	・福祉なんでも出張相談会（イズミヤ）について（報告） ・アウトリーチ型研修会（カスタマーハラスメント）について ・ひらかた社協ふくしフェスティバルの参加について	7

12/10	ラポールひらかた 研修室 4	・福祉なんでも出張相談会（アル・プラザ枚方）について ・アウトリーチ型研修会について ・令和 8 年度総会について	6
1/23	ラポールひらかた 特別会議室	・福祉なんでも出張相談会（アル・プラザ枚方）について ・アウトリーチ型研修会について	9
3/3	枚方総合文化芸術 センター別館 第 4 会議室	・令和 8 年度総会について	6

③研修会等の開催

（単位：人）

月日	開催方法	内 容	出席数
9/3	ラポールひらかた 研修室 1	【研修会】 テーマ「応急手当（心肺蘇生法）講習会」 講師：枚方寝屋川消防組合	18
12/10	ラポールひらかた 大研修室	【研修会】 テーマ「今、知っておくべき福祉現場におけるカスタマー ハラスメント対策 ～カスハラから職員と施設を護るた めの法的知識と対応手法～」 講師：弁護士法人 梅ヶ枝中央法律事務所 弁護士 岩田 和久 氏	47
3/3	枚方市総合文化芸術 センター別館 メセナホール	【研修会】 テーマ「人生をあきらめない ～アルコール依存症と共に 生きる～」 講師：株式会社山口達也 山口達也 氏	142

④福祉なんでも出張相談会の開催

月 日	場 所	相談件数
10/2、10/3	イズミヤショッピングセンター枚方	23 件
2/3、2/4	アル・プラザ枚方	28 件

⑤広報、啓発

- ・ひらかた社協ふくしフェスティバルにおいて地域貢献連絡会の紹介パネル展示と会員施設紹介コーナー、パンフレット・啓発チラシの配布を行った。
- ・市民向け啓発資料を作成（クリアファイル：2,000 部）し、福祉なんでも出張相談会・社協ふくしフェスティバル・研修会にて配布を行った。

（１５）冠基金（あなたの想いを届けます基金）事業

寄付者本人の想いを本会が聴き取りながら実現に向けて一緒に考え、具体的な形で市民に届ける基金制度を実施。基金設立のための寄付金は 300 万円以上としている。令和 7 年度は下記の 2 事業を実施するとともに、新たに 1 つの基金を設立した。

①木田基金

令和 2 年度に設立した木田きせ様（故人）からの遺贈寄付「木田さんからのお祝いプロジェクト」により、経済的に苦しい小学校新入生がいるひとり親世帯を対象に「ランドセル購入補助（上限 2 万円）」を行い 45 人の対象者に補助金を支給した。

②幸子基金

令和 3 年度に幸子様からの寄付により設立した「次世代育成 幸子ファンド助成事業」を実施。問い合わせは複数寄せられたものの、最終的に申請には至らなかったが、次年度以降の申請に繋がるよう、アドバイス、情報提供等を行った。

③福祉みらい基金

令和 6 年度に「枚方市の福祉にとって最善の事をお考えください」というメッセージとともに多額の

匿名寄付が寄せられた。本会は、寄付者の想いを受け、市民を対象とした社会福祉関係の各種取り組みに活用することを目的とした「福祉みらい基金」を設立した。

2. 住民会費等事業

住民主体の地域福祉活動を進めるため校区福祉委員会を協力窓口とし、校区コミュニティ協議会や自治会等の協力のもと住民会員の募集を行った。なお、募集時には「地域ふくし募金」という愛称を使用した。

集まった募金は校区福祉委員会の活動に対する助成をはじめ、ボランティア活動の支援や本会の広報誌である社協だよりの発行など、「誰もが安心して暮らせるふくしのまちづくり」の推進にむけた各種事業に活用した。

(1) 組織会員の状況

組織会員は、本会の事業運営に参画する団体や機関を指す。地域福祉推進の中核機能であり、評議員の選出母体にもなるなど、本会の基本的な構成員である。会員の積極的な加入を呼びかけるとともに、会員を対象とした研修を年1回行った。

- ①組織会員数 161 団体（令和8年3月31日現在）
 入会数 1 団体
 退会数 0 団体

②組織会員研修

インターネット及び SNS を利用した特殊詐欺に関する研修を実施した。本研修では、市内で多く発生している詐欺の手口について具体的な事例を講師より紹介するとともに、被害の実態について理解を深めた。

（テーマ） 「巧妙化する詐欺のワナ」～リスクに備えて今できること～
 （日 時） 令和7年11月19日（水） 午後2時～3時30分
 （場 所） ラポールひらかた 4階 大研修室
 （講 師） 大阪府枚方警察署 生活安全課 防犯保安係
 （参加者） 73 人

(2) 社協会員募集状況

7月を推進月間とし、実施（募集時には下記の愛称を使用）

募 金 の 種 類	人 数	詳 細
地域ふくし募金 (500円以上)	13,909人	7,922,176円
企業ふくし募金	81件	91口 910,000円
地域ふくし募金 (500円未満)		5,018,684円
合 計		13,850,860円
※前年度募金実績		14,356,111 円

(募金の使い道)

校区福祉委員会活動助成（43 校区）	6,926,249 円
地域福祉活動支援助成（39 校区）	3,031,376 円
ひらかた社協だより印刷配布費	2,505,463 円
ボランティア活動等推進費	420,250 円
事務経費	967,522 円
合 計	13,850,860 円

3. 助成事業

(1) 枚方市福祉団体連絡会 事業報告

①全体会 10回

(単位：人)

日	場 所	内 容	出席数
4/15	第1回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・第1回交流会について ・令和7年度総会について ・活動助成金の使途にかかる領収書の提出について ・要望書提出について ・その他	10人
5/29	第2回 ラポールひらかた ミーティングルーム 1・2	・第1回交流会について(報告) ・第1回管内研修について ・要望書提出について(依頼) ・令和7年度福祉団体助成金の交付について ・歳末たすけあい福祉活動助成申請について ・その他	10人
6/30	第3回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・第2回交流会について ・第1回研修について ・要望書の提出について ・その他	10人
8/20	第4回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・第2回交流会について ・要望書について ・今後の予定について ・その他	9人
10/1	第5回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・第2回交流会について(報告) ・枚方市健康・医療・福祉フェスティバルについて ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・障害者週間啓発イベントについて ・その他	10人
10/22	第6回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・枚方市健康医療福祉フェスティバルの報告 ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・障害者週間啓発イベントについて ・その他	10人
11/17	第7回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・枚方市健康医療福祉フェスティバルについて ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・会計研修会について ・障害者週間啓発イベントについて ・その他	10人
12/15	第8回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・回答会について ・第3回交流会について ・その他	9人
2/18	第9回 ラポールひらかた 福祉団体共有ルーム	・福祉団体連絡会への補助金について ・令和8年度交流会について ・令和8年度総会について ・令和8年度障害者週間について ・さわやかカフェ・スマカフェについて ・その他	10人

3/9	第 10 回 ラポールひらかた 福祉団体共有ルーム	・福祉団体連絡会への補助金について ・令和 8 年度福祉団体連絡会総会について ・令和 8 年度福祉団体連絡会交流会について ・さわやかカフェ・スマカフェについての振り返り ・その他	10 人
-----	---------------------------------	---	------

総会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/19	ラポールひらかた 3 階・研修室 1	・令和 6 年度事業報告・決算・監査報告 ・令和 7 年度事業計画（案）・予算（案） ・役員改選 ・規約改正 ・研修会「枚方市福祉団体連絡会構成団体の活動について」 ～各団体より活動内容の紹介と 意見交換～	31 人

②企画委員会の開催（年間 17 回 連絡会役員 4 人）

連絡会の案件調整及び主催事業の企画・検討を行った。

【 開催日 】 4/7・5/8・6/2・7/9・7/31・8/7・8/12・8/20・8/26・9/12・10/17・11/4・11/12
12/4・12/19・2/5・3/2

③認知症カフェ「さわやかカフェ」の開催（年間 21 回）

【 開催日 】 4/8・4/22・5/13・5/27・6/10・6/24・7/8・7/22・8/26・9/9・10/14・10/28・11/11・
11/25・12/9・1/13・1/27・2/10・2/24・3/10・3/24
休室（3 回） お盆 8/12・祝日 9/23・要望回答会と同日の為中止 12/23

④ その他

- ・ 6 月 25 日 市より昨年度要望に対する進捗状況の説明
- ・ 8 月 29 日 要望書提出（健康福祉政策課）
- ・ 10 月 26 日 枚方市健康・医療・福祉フェスティバルに参加協力：模擬店出店 3 団体
- ・ 11 月 8 日 ひらかた社協ふくしフェスティバルに参加協力：模擬店出店 3 団体
- ・ 12 月 23 日 回答説明会

⑤各事業の開催

(単位：人)

日	場 所	内 容	出席数
4/18	ミホミュージアム	第 1 回 交流会	33 人
7/16	ラポールひらかた 3F 研修室 1	第 1 回 研修会 地域包括支援センターの役割と介護保険制度について 地域包括支援センター社協こもれば 職員	22 人
9/18	ラポールひらかた 日常生活訓練室	第 2 回 交流会 料理教室	18 人
11/26	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	第 2 回 研修会 会計研修 事務局より説明	22 人

12/8	ラポールひらかた 大研修室	障害者週間啓発イベント 1部「式典の部」 2部映画上映 「35年目のラブレター」 協力 枚方市民生委員児童委員協議会	会員 77人 一般 64人 合計 141人
12/24	ラポールひらかた 日常生活訓練室	第3回 交流会 餅つき	24人

(2) ひとり暮らし老人会連絡会の活動支援

校区福祉委員会の援助のもと、各校区に結成された「ひとり暮らし老人会」の連絡調整を図り、校区福祉委員会や関係機関・団体との連携を密にし、組織の充実・強化を行い、ひとり暮らし高齢者の福祉向上を目的とする活動の支援を行った。

【ひとり暮らし老人会設置状況】

令和7年4月現在

当該校区福祉委員会数	設置数	会員総数
43校区	25会	683人

①連絡会の開催状況

(ア) 役員会 4/18、5/30、6/20、7/18、9/19、10/17、11/18
12/19、1/16、2/20、3/17 計 11回

(イ) 全体会

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
5/30	ラポールひらかた 研修室1	・枚方警察署・交通安全講演 ・役員改選について ・社協評議員候補者の推薦 ・令和6年度事業報告及び決算報告について ・令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について ・令和7年度ブロック管外研修・交流研修について （ブロックごとで活動内容、意見交換をしていただく） ・その他	26
10/17	ラポールひらかた 研修室1	・エンディングサポート事業について 社協 生活支援課 ・令和7年度 会長・役員等研修会（夏を乗り切る姿勢調整体操）報告について ・令和7年度 会員交流研修会（はつたクリニック初田院長の講演）について ・「敬老のつどい」優良ひとり暮らし老人会表彰 ・赤いベレー35周年記念コンサート広報チラシ配布について ・各会会長自己紹介の後、ブロックごとで活動内容確認 ・その他	26
3/6	ラポールひらかた 研修室1	・令和7年度会員交流研修会（はつたクリニック初田院長の講演）報告について ・令和8年度運営助成金の申請について ・会報「やすらぎ第45号」の発行について ・11月21日管外研修写真配布について ・令和8年度年間予定について ・グループ別ミーティング ・その他（第2回全体会報告書など）	23

②研修会の開催状況

(ア) 会長・役員等研修会 (管内研修)

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
9/22	ラポールひらかた 大研修室	内 容 「夏を乗り切る姿勢調整体操」フレイル・認知症 予防を込めて 講 師 街の健康 ROOM 代表 枚方市一般介護予防事業 介護予防体操教室 担当 永濱 旭 氏	57

(イ) 会長・役員等研修会 (管外研修)

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
11/21	大阪府立弥生文化博物館 大阪ガス ガス科学館	研修先 博物館展示物見学 研修先 科学館にて研修・工場内観光バスにて見学	27

(ウ) 会員交流研修会

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
2/13	ラポールひらかた 大研修室	内 容 「認知症予防について」 講 師 はつたクリニック 初田 裕幸 院長	77

(エ) ブロック別活動事業

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
6/16	ミシガンクルーズ	【 F・Gブロック (4会) 】 びわ湖ミシガンクルーズ遊覧&ランチバイキングによる会員の交流	41
10/7	出雲大神宮 大石酒造株式会社	【 Bブロック (4会) 】 出雲大神宮参拝・大石酒造株式会社酒蔵見学による会員の交流	26
11/11	人道の港 敦賀ムゼウス	【 C・Dブロック (3会) 】 人道の港 敦賀ムゼウス見学による会員の交流	35
11/26	月化粧ファクトリー 淡嶋神社	【 Aブロック (4会) 】 月化粧ファクトリー見学・淡嶋神社参拝による会員の交流	25

(オ) ブロック別交流・研修会

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
6/25	けやき東街第2集会所	【 C・Dブロック (4会) 】 食事会、落語、歌による会員の交流	57
11/11	ラポールひらかた 研修室2	【 Eブロック (3会) 】 ヤクルト健康教室「第2の脳！腸の働き」 松徳会もしバナカードゲームで「縁起でもないハナシをしよう！」による会員の交流	25

③小学唱歌を歌う会「赤いベレー」

(ア) 35周年記念コンサート

11月1日(土)

枚方市総合文化芸術センター ひらしんイベントホール

参加者 200人

(イ) 月例開催状況 ・年間 11回 529人(延べ人数) ラポールひらかた大研修室で活動

(ウ) 主催行事 ・友愛訪問 特別養護老人ホーム「里仁館」

※施設側との日程が合わず中止

4. 共同募金配分金事業

(1) 赤い羽根共同募金(令和7年10月1日～令和7年12月31日)

自治会を窓口とした戸別募金や市内の福祉施設における募金箱の設置、法人募金や学校募金のほか、ボランティアグループ連絡会や市民ふくし活動チャレンジ基金、次世代育成幸子ファンド助成金の助成団体の協力を得て、京阪枚方市駅周辺で街頭募金を実施した。

募金総額 6,181,403 円
※前年度実績 6,558,841 円

[共同募金の配分]

大阪府共同募金会からの配分金(令和7年度募金分) 1,647,356 円
枚方市内で活動するボランティア団体などに対し助成を行った。

(2) 地域歳末たすけあい募金の実施(令和7年12月1日～令和7年12月31日)

枚方地区募金会と社会福祉協議会との共催で実施。自治会や事業所、社会貢献に取り組むボランティア団体の協力を得て募金活動を実施した。

募金総額 8,330,765 円
※前年度実績 9,255,360 円

[地域歳末たすけあい募金の配分]

大阪府共同募金会からの配分金(令和6年度募金分) 8,592,064 円

(配分内訳)

(単位:円)

ボランティアグループ活動助成	835,000
ひとり暮らし老人会運営助成	1,031,400
ひとり暮らし老人会連絡会助成	300,000
福祉団体等活動助成	300,000
居場所づくり支援助成	600,000
テーマ型福祉活動団体拠点確保支援助成	188,000
権利擁護と成年後見事業	700,000
福祉理解啓発事業	4,268,558
障害者ウォークラリー事業助成	69,591
子ども・子育て支援事業	1,761,898
小規模災害(火災)助成	165,000
生活困窮者緊急支援助成	19,973
合 計	10,239,420

※「共同募金の配分」「歳末たすけ合い募金の配分」含む

5. コミュニティソーシャルワーカー配置(多機関協働等)事業

令和7年度は昨年度に引き続き重層的支援体制整備事業の事業強化に取り組んだ。

アウトリーチ事業では、市内全域にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、身近な地域の福祉相談員として、「どこに相談したらいいかわからない」などの福祉に関する困りごとを抱えた住民への個別支援と、個別の福祉課題を地域の課題として捉える「福祉のまちづくり」の推進に取り組んだ。特に、CSWの強みであるアウトリーチを強化し、伴走型支援としての訪問相談や地域活動での出張相談会の充実に尽力した。また、個別相談の対応だけではなく、民生委員児童委員協議会の地区委員会、校区福祉委員会が開催するサロン活動にも参加し、地域の課題など活動者からの相談に応じるなど地域支援を行った。

地域づくり事業としては、長年にわたり地域福祉の中心として本会と共に各種地域福祉活動に取り組んでいる校区福祉委員会の活動支援を行った。

多機関協働事業では、行政の各相談機関と連携し、「属性を問わない相談支援等」きめ細やかな支援体制に取り組みながら、重層的支援体制整備事業やＣＳＷの啓発活動を通じて連携強化を図った。

参加支援としては、介護者家族や介護経験者が集うことのできる場として、隔月で「介護者のつどい」を実施。また「ルファルひらかた社協」１階の地域交流スペースを活用し、昨年度に引き続き「クラカフェ」や「スマカフェ」を実施するほか、社会福祉施設と連携し、『出張スマホ相談会』を実施した。

（１）アウトリーチ事業

①要援護者に対する相談・セーフティネット体制

要援護者の生活・心身の状況及び家族等の実態を把握し、地域団体・専門機関とともに、見守りやサービス等の調整、複合する課題を抱えた人や公的サービスだけでは対応できない人への支援体制づくりに向けて取り組んだ。

（ア）年間相談者数 1,001 人

（イ）年間相談件数 （重層的支援体制整備事業対応ケース含む） （単位：件）

【相談対象者別】	新規相談件数	継続相談件数 (新規含む)
高齢者	316	1,255
（うち）１人暮らし高齢者	166	611
（うち）高齢者のみの世帯	96	364
（うち）上記以外の高齢者	54	280
障害者	150	2,048
（うち）身体障害者	23	110
（うち）知的障害者	26	414
（うち）精神障害者	101	1,524
子育て中の親子	52	242
ひとり親家庭の親子	28	272
青少年（３９歳以下）	66	442
DV被害者	7	84
ホームレス	0	0
外国人（中国帰国者を含む）	4	9
中高年、４０歳以上	169	1,705
地域活動者・住民	221	517
その他(上記以外)	108	313
合 計	1,121	6,887

【相談内容別】 ※重複該当を含む	新規相談件数	継続相談件数 (新規含む)
福祉制度・サービスに関する相談	306	2,292
生活に関する身近な相談	296	2,222
病気や健康・障害・医療に関する相談	115	1,001
収入・生活費に関する相談	163	1,115
仕事探し・就労に関する相談	30	201
財産管理・権利擁護に関する相談	32	255
消費者被害に関する相談	5	6
債務に関する相談	24	177
DV・虐待に関する相談	20	237
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	240	618

住まいに関する相談	74	746
子育て・子どもの教育に関する相談	23	155
近隣、地域との関係について	54	216
ひきこもり・不登校について	30	260
人権・差別について	0	1
家族との関係について	47	402
食べるものがない	61	272
介護のことについて	20	120
仕事上の不安やトラブルについて	0	4
家賃やローンの支払いについて	23	147
その他（上記以外）	92	235
合 計	1,655	10,682

(ウ) ケース検討会等の随時開催

(エ) 身近な所で相談できる出張相談会（市内 28 か所）の開催

〔定例相談会〕校区福祉委員会等が開催するサロンや拠点施設で定例の相談コーナーを開設。

中部 5 か所/北部 9 か所/南部 8 か所/東部 5 か所/市内全域 1 か所

② C S W 事業の推進体制

関係機関・団体等の会議に参加、連携を図り、事業推進のための体制づくりを行った。

(ア) C S W 配置事業定例会(枚方市・枚方市社会福祉協議会)の開催(12 回)

(イ) C S W 事例検討会の開催(6 回)

(ウ) 社会福祉施設地域貢献連絡会との連携

(エ) 多職種連携会議・研修会への参加

(オ) 介護予防日常生活支援総合事業への参加・参画

(カ) 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議への参加

(キ) 枚方市自立相談支援センター支援調整会議への参加

(ク) ファミリーポートひらかた地域連絡会への参加

(ケ) 北河内高次脳機能障害ネットワーク会議への参加

(コ) 府・市関係各課及び地域の関係機関・団体等との連携

③ 広報・啓発活動

(ア) 社協だよりに P R 記事掲載(6 月)

(イ) 各校区福祉委員会発行の広報紙に C S W の啓発記事を掲載

(ウ) 啓発資材の作成と配布

活動事例集 750 部・啓発チラシ 4,000 枚・ティッシュ 3,000 個

(2) 多機関協働事業

① 相談窓口・多職種連携会議

C S W が日常的に連携している各関係機関を対象に連携会議を実施。講演会や事例検討を通じて、グループワーク形式で「ヤングケアラー」「権利擁護」「多職種連携」について議論した。

月日	場所	内容
8/6	ラポールひらかた 大研修室	情報提供 『ヤングケアラーについて』 講 師 スクールソーシャルワーカー 永田 絵里 氏
12/16	枚方市総合文化芸術セン ター別館 大会議室	情報提供 『事例で学ぼう！！権利擁護支援』 講 師 ひらかた権利擁護成年後見センター 職員
3/10	ラポールひらかた 大研修室	事例検討会『事例で考える多職種連携 －高齢・障害・児童をむすぶ支援－』 事例提供者：枚方市社会福祉協議会 CSW

②重層的支援体制整備事業

健康福祉部 健康福祉総合相談課と連携し、取り組んだ。

- ・ 定例会議の開催（年 12 回）

③啓発活動

重層的支援体制整備事業の取り組み状況やC S Wの役割等の事業紹介を行った。

月日	場所	内 容
5/30	UR 香里 D 集会所	香里校区老人会 長寿会 「いきいきネット相談支援センターについて」
10/15	教育文化センター	第 3 圏域 CM 研修会 「ヤングケアラーの支援～支援について考える～」
12/11	南部生涯学習市民センター	第 9 圏域多職種連携研究会 「いきいきネット相談支援センターについて」
12/17	オドリバ	第 5 圏域 CM 研修会 「ヤングケアラーの支援～支援について考える～」
1/14 1/22	ラポールひらかた	民生委員児童委員全体研修会 「CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の役割

その他、校区福祉委員会のいきいきサロン、民生委員児童委員協議会の地区委員会等でC S Wの役割等の啓発活動を実施した。

（３）参加支援事業（居場所づくり）

ルファルひらかた社協を活用し、ひきこもりの方などの社会参加を支援するためのクラカフェを開催。

① クラカフェの実施 開催回数 74 回 延べ参加者 267 人

② スマカフェの実施 開催回数 12 回 延べ参加者 28 人

出張スマホ相談会

○特別養護老人ホーム ひらかた聖徳園

毎月第 4 木曜日 10 時～12 時

○ひらかた・にじ福祉工場 令和 7 年 7 月 31 日（木）、令和 8 年 1 月 20 日（火）

13 時 30 分～15 時

○特別養護老人ホーム 悠々の苑 令和 8 年 3 月 11 日（水） 10 時～11 時 30 分

③介護者のつどい

偶数月の第 3 金曜日に介護者家族、介護経験者の集いの場所として開催した。

④ルファルひらかた社協での取り組み

ルファルひらかた社協の啓発及び世代間交流の目的で地域活動センターゆい、地域包括支援センター社協ふれあいと協働で開催した。

○ルファルひらかた社協クリスマス会

日時：令和 7 年 12 月 24 日（火）13 時～16 時

内容：地域のコーラスの方々を招いてのライブやマジックショーを開催した。

（４）地域づくり事業（校区福祉委員会協議会）

高齢者・障害（児）者・子育て中の親子などが地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支えあい活動を小地域で行う体制を構築することを目的とし、校区福祉委員会を中心に展開した。加えて、活動を支える担い手の養成や研修、相互交流等の機会を設けた。

① 役員会開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
4/23	ラポールひらかた 特別会議室	・令和7年度事務局体制について ・令和7年度地域ふくし募金について ・令和6年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・校区福祉委員会協議会役員改選について ・各種委員の推薦依頼について ・活動者研修について ・第7次地域福祉活動計画について	7
7/23	ラポールひらかた 特別会議室	・令和7年度赤い羽根共同募金について ・ひらかたこども福祉新聞について ・令和7年度会長研修・活動者研修について ・各種委員の推薦について ・校区ふくしのまちづくり計画策定懇談会について	8
11/28	ラポールひらかた 特別会議室	・令和7年度歳末たすけあい募金運動について ・令和7年度地域ふくし募金の中間報告等について ・活動者研修（報告） ・各種事業について	7
2/26	ラポールひらかた 特別会議室	・関西医大看護学部 実習について ・令和7年度地域ふくし募金について ・令和7年度歳末たすけあい募金運動について ・令和8年度校区福祉委員会協議会事業計画（案）について ・ひとり暮らし老人会運営助成金に関する書類提出について ・校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ・各種事業の報告について	7

② 代表者会議開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/20	ラポールひらかた 研修室 1	・令和7年度事務局体制について ・令和7年度地域ふくし募金について ・令和6年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・第7次枚方市地域福祉活動計画について ・校区ふくしのまちづくり計画について ・校区福祉委員会協議会役員改選について ・各種委員の推薦について	42
12/24	ラポールひらかた 大研修室	・令和7年度地域ふくし募金の中間報告について ・令和7年度歳末たすけあい募金運動について ・冬期献血キャンペーン及び京阪枚方市駅献血ルームの啓発について（報告）	40
3/19	ラポールひらかた 研修室 1	・関西医科大学看護学部 実習について ・令和7年度地域ふくし募金について ・令和7年度歳末たすけあい募金について ・令和8年度地域ふくし募金事業「校区福祉委員会活動助成」「地域福祉活動助成」助成金の申請・請求手続きについて ・令和8年度校区福祉委員会協議会事業計画（案）について ・ひとり暮らし老人会運営助成金に関する書類の提出について ・校区献血について ・校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ・令和8年度ボランティア保険について	40

③各エリア会議開催状況

(ア) 北エリア会議

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/8	牧野生涯学習市民センター集会室 2	・令和 7 年度 事業計画について ・今年度の管外研修について ・意見交換会	18
10/29	日本赤十字社近畿ブロック血液センター	【管外研修】 ・日本赤十字社近畿ブロック血液センターの施設見学	25
3/4	牧野生涯学習市民センター集会室 3	・令和 8 年度 事業計画について ・意見交換 ・研修【救命講習】 講師・殿二校区福祉委員会 会長 ・枚方市消防団 殿二分団 分団長 山田 昇 氏	12

(イ) 中エリア会議

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/18	ラポールひらかた大研修室	・各校区の取り組み状況の共有 ・地域活動で活用できるレクリエーション（ボッチャ）体験	21
2/17	枚方市総合文化芸術センター別館第 5 会議室	・研修 「食事を調理提供するサロン活動を安全に実施する為の食中毒予防」について 講師 保健所 保健衛生課 田村 亮輔 氏 ・令和 8 年度 事業計画について	19

(ウ) 南エリア会議

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
11/17	ラポールひらかた研修室 1	・研修 地域活動の拠点「RiBBON（リボン）」の取り組みについて 講師 社会福祉法人 大東市社会福祉協議会 藤井 美貴氏・高田 準弥氏	23
2/17	高齢者福祉総合施設健光園あらしやま	【管外研修】 高齢者福祉総合施設健光園あらしやまの施設見学	16

(エ) 東エリア会議

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/8	津田生涯学習市民センター第 1 集会室	・研修 「みんなでつくる地域の未来～防災の観点から～」 講師：枚方市ボランティアセンター 森江 良博 氏 ・各校区の福祉活動についての意見交流会	23
2/20	津田生涯学習市民センター第 3 集会室	・研修 「知的障害者の地域生活について ～地域連携推進会議を通じて～」 講師：社会福祉法人 徳風会とくふうホーム 施設長 上田 国寛 氏 ・各校区の福祉活動についての意見交流会	19

(5) 研修会開催状況

①校区福祉委員会会長研修会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
12/24	ラポールひらかた 大研修室	【講演会】 テーマ 「知的障害のある方の暮らしについて」 ～地域で暮らす・みんなと暮らす～ 講師 桐山 広子 氏	43

②校区福祉委員会活動者研修会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/30 11/6	ラポールひらかた 大研修室	【研修会】 「車いす講座、白杖アイマスク体験」 講師 枚方市社会福祉協議会 地域福祉課 職員	32 34

③いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
2/10	ラポールひらかた 研修室 1	テーマ 認知症になっても輝けるまちづくりの実践について 講師 ゆめ伴プロジェクト in 門真実行委員会 総合プロデューサー 森 安美 氏	29

④小地域ネットワーク活動リーダー研修会（大阪府社会福祉協議会主催）

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
1/29	大阪国際交流 センター	テーマ とともに描き、ともに動く - 協働で進める小地域活動 【講義・講評】 武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 教授 松端 克文 氏 【実践報告】 ・寝屋川市より「孤独・孤立を防ぐ地域づくり 5 大プロジェクトの経過と校区における取組み～小さな気づきをつなぐ『見守りハンドブック』・子どもの成長を地域で支える『ボランティアポイント』～」 ・河内長野市より「絵に描いた餅にしない 活動計画の具体化のプロセスと協働の取り組み」	21

⑤地域福祉セミナー（枚方市と共催）

月 日	場 所	内 容
10/6	枚方市総合文化芸術センター別館 大会議室	テーマ ボランティア・地域活動のススメ 生きがい・やりがい・楽しさ 自分発見の生き方探し 【講演】 講師 ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰 新崎 国広 氏
3/2	ラポールひらかた 大研修室	【講演】 テーマ 立ち直りの声を聞く 当事者が語る再出発 講師 NPO 法人 チェンジングライフ 理事長 野田 詠氏 氏

(6) 小地域ネットワーク活動推進事業（校区福祉委員会活動支援）

①各校区の地域福祉活動の推進

市内全 43 校区福祉委員会が、各校区の地域特性に応じて住民主体で取り組む小地域ネットワーク活動を行った。

(ア) 個別援助活動

- ・地域で支援を必要とする人に対する見守り・声かけ訪問
- ・外出することが困難な人へ食事を提供するとともに、安否確認などを行う配食活動

(イ) グループ援助活動

- ・高齢者等を対象に、住民の憩いの場づくりとしてのいきいきサロン活動
- ・子育て中の親子が集まり、親同士の交流等を行う子育てサロン活動
- ・住民全般を対象とした世代間交流活動
- ・高齢者や障害者、性別、年齢などに関係なく地域の誰もが集える共生型サロン活動

(ウ) 校区福祉委員会等活動

- ・福祉講座やボランティアスクール等、地域住民に対する福祉啓発活動
- ・担い手の養成等を目的とした各種研修会の開催

(7) 関西医科大学との連携

関西医科大学看護学部看護学科からの実習協力要請に応え、今年度も「生活看護論実習Ⅰ及びⅣ」の履修者を対象に、各校区福祉委員会の協力を得て、地域での実習受け入れを行った。

【受け入れ人数】1年生延べ212人、4年生延べ451人

【受け入れ期間】6月～12月

(8) その他の活動

- ・地域ふくし募金への協力（7月） ・歳末たすけあい運動への協力（12月）
- ・献血街頭キャンペーンへの参加（7月、12月）
- ・マフの日 毎月第2金曜日 14時～16時
（偶数月はルフアルひらかた社協、奇数月はラポールひらかたで開催）

6. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動は福祉をはじめ、保険・医療・環境・教育・文化・スポーツ・防災など幅広く、活動内容も多様化している。

今年度は市民が、より利用しやすいボランティアセンターを目指し、新たな担い手の発掘や育成に取り組みを行った。特に市民が身近にボランティア活動に参加しやすい環境を整えるため、ボランティア体験プログラムや各種講座、イベント等のほか、「かるボラーな」や「ひらボラ・ルーム」を計画し実施してきた。

登録ボランティアやグループにおいては、新型コロナウイルス感染症以後、休止していた団体の活動が再開するなど、各グループが工夫しながら途切れることなく活動を続けられるよう支援した。

(1) 枚方市ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター開所状況

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	21	21	21	22	20	20	22	20	20	20	19	21	247

② ボランティアセンター利用状況

(延べ件数)

(延べ件数)

利用者(個人・団体)	件数	利用方法	件数
現任ボランティア・グループ	773	来所	1,489
学 生	61	電 話	942
一般市民(主婦・シニア等)	412	計	2,431
地域(福祉委員会・民生委員・自治会等)	435		
学校・教育関係	65		
福祉施設・医療関係	173		
行政・他市社協	293		
その他団体	219		
計	2,431		

③利用内容

(延べ件数)

内 容	件 数
ボランティア活動相談	293
ボランティア依頼相談	273
各種情報提供	1,062
ボランティア保険相談・問い合わせ	523
サロン・講座・交流	306
計	2,457

※重複相談含む

④ボランティア／ボランティアグループ登録状況 (年度更新制)

登録ボランティアグループ	68 団体	新規登録グループ数	4 団体
--------------	-------	-----------	------

⑤枚方市ボランティアセンター運営委員会開催状況 (単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
10/22 (水)	ラポールひらかた 3階 研修室2	・新運営委員の紹介 ・令和6年度枚方市ボランティアセンター事業報告 ・令和7年度枚方市ボランティアセンター事業計画 ・枚方市ボランティアセンターの状況 ・その他	10
2/17 (火)	ラポールひらかた 研修室2	・令和7年度ボランティアセンター事業報告 ・令和8年度ボランティアセンター事業計画(案) ・災害ボランティアバス活動報告 ・「能登半島地震および豪雨災害 復興支援ボランティア活動報告」	7

⑥ボランティアグループ連絡会の活動状況

現在、市内12団体で構成し、各団体が情報交換・連携を図りながら活動を展開。また、「大阪府市町村ボランティア連絡会」の総会や研修交流会等にも参加している。

(ア) 枚方市ボランティアグループ連絡会

連絡会の開催(4/1・6/2・8/1・10/1・12/2・2/2) ・ 総会の開催 (4/1)

赤い羽根共同募金 (10/1・10/2)

健康医療福祉フェスティバル (10/26)

ひらかた社協ふくしフェスティバル (11/8)

河北ブロックボランティア連絡会交流会 守口市 (11/13)

各種打ち合わせ (4/21・5/22・7/8・9/26・11/26・12/17・1/26・2/18)

(イ) ボランティア交流会の開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
7/12 (土)	ラポールひらかた 研修室1	・各団体に置かれている現状 ・今後の担い手づくりへの進め方 ・府ボランティアグループ連絡会からのお知らせ等	10
2/10 (火)	WAVE34	・枚方市ボランティアグループ連絡会 ・ボーリング交流会	9

(ウ) 大阪府市町村ボランティア連絡会への参加

総会に参加 (5/21)

代表者会議・ボランティア研修交流会 (2/9)

- ⑦ボランティア関係機関との連携
- (ア) 大阪府社協担当者会議 (7/22)
 - (イ) 他市社会福祉協議会との情報交換や交流
河北ブロックボランティア担当者会議 開催地：四條畷市 (9/25)・大東市 (3/28)
- ⑧情報提供、啓発活動の状況
- (ア) 冊子等の発行
 - ・ボランティアグループ一覧表の配布
 - (イ) 情報媒体への提供・協力
 - ・社協だより、広報ひらかた
 - ・市社協及び府社協等関係機関のホームページ・SNS 等
 - (ウ) 各種機器、機材の貸与事業
 - ・白杖・アイマスク 25 件
 - ・車椅子 20 件
 - ・高齢者疑似体験 7 件
 - ・点字盤 2 件
- ⑨ボランティアセンターホームページの運営
ボランティア情報の更新、助成金関連の情報掲載、ボランティアの募集依頼の掲載等行った。

(2) ボランティア・市民活動者・育成支援

①市民講座

- 6/19 折り紙講座 参加者 12 人
- 8/14 パペット講習会 参加者 7 人
- 9/11 エプロンシアター講習会 参加者 9 人

②ボランティア講座

- ・ボランティア養成講座 (連続3回：8/30・9/6・9/13)
 - 8/30 ボランティアを始める前に知って欲しいこと
ボランティアセンターについて
講師 枚方市ボランティアセンター職員
聴くことが、ボランティア ～聴く時に大切な姿勢～
講師 傾聴ボランティアちょうちょ
 - 9/6 福祉教育体験 市内の学校で教えている車いす、白杖アイマスクの体験
災害ボランティアセンターの紹介 ～近年の災害について～
講師 枚方市ボランティアセンター職員
 - 9/13 ボッチャを知ろう！ボッチャで仲間づくり！
講師 枚方市ボランティアセンター職員
おいしいコーヒーを知ろう！
講師 SPRING ひらかた珈琲倶楽部
参加者 延べ 24 人
- ・傾聴ボランティア養成講座 (※4回 2/5・12・19・26)
講師 吹田傾聴ボランティア「ほほえみ」 長谷川 美津代 氏
参加者 延べ 114 人

③ 小中学生及び地域住民への福祉体験講座を実施

- ・市内小学校・中学校 計 24 校
車いす体験 (10 校)・アイマスク・白杖体験 (19 校)・高齢者疑似体験 (1 校)
- ・施設、地域住民対象 計 8 校
車いす体験 (3 件)・白杖体験 (2 件)・ボランティア講座 (3 件)

④ 夏のボランティア体験プログラム 期間：令和7年7月1日～令和7年9月30日

社会福祉施設 (保育7カ所・障害4カ所・高齢5カ所) 16カ所
ボランティアグループ6団体 (ボラセン含む) メニュー23 参加者：延べ 13 人

- ⑤ 「かるボラーナ」の開催（誰でも気軽にボランティア活動に参加できる居場所として）
 毎月第3 水曜日 ラポールひらかた
 第4 水曜日 ルファルひらかた社協（計年22回開催）
 ※但し、8月については、休止とした。
 参加者：延べ89人（内訳：男性4人・女性85人）
- ⑥ 「ひらボラ・ルーム」の開催（ボランティア活動に関するプラットフォームとして）
 4/12・6/14・7/12・8/9・10/11・12/13・2/14（年7回開催）
 参加者 延べ146人（男性83人・女性63人）
- ⑦ 能登半島地震および豪雨災害復興支援ボランティア（11/21～23）
 行き先：石川県輪島市町野町
 参加者 19人（男性17人・女性2人）／引率職員 4人（男性3人・女性1人）
 合計23人

（3）枚方市災害ボランティア活動推進事業

災害時におけるボランティアの養成や研修等を実施し、市民の防災意識の向上や災害時における地域との連携強化に努め、平時からの関係機関との連携強化に努めた。

（ア）市民講座

- 8/9 「被災体験・災害ボランティア体験について」
 「災害ボランティアセンターについて」 参加者 29人
- 10/11 「大学生による輪島市・熊本県ボランティア体験について」 参加者 13人
- 12/13 「災害ボランティアバス報告について」
 「災害ボランティアセンターについて」など 参加者 32人

（イ）現任研修

- 2/7 「いつか来る“その時”に備える」
 ～能登半島地震・豪雨災害から学ぶ、地域と自分の守り方～
 講師 もとやスーパー 代表 本谷 一知 氏 参加者 86人
 ※一般参加含む
- 2/14 「地震のとき、建物はどう危険？今知っておきたいポイント」
 講師 TEAM B-DASH 藤丸 剛 氏 参加者 8人

（ウ）防災関係の行事参加

- 9/6 枚方防災フェスタ ～みらいへつなぐ、防災のチカラ～に参加（枚方ビオルネ）
 参加者延べ100人
- 11/22 ひこ防‘Z’に参加（ラポールひらかた）
 参加者 9人

（エ）出前講座

- 4/24 菅原・菅原東・長尾地区委員会（民生）
- 6/22 川越校区自主防災会
- 11/14 第10圏域他職種連携研究会
- 2/25 大阪損害保険協会総会
- 3/11 第7、8圏域BCP研修会
- 3/26 SPRING ひらかた珈琲倶楽部

（オ）訓練

- 2/27 枚方市災害ボランティアセンター設置運営シミュレーション訓練（ラポールひらかた）
 協力：枚方市校区福祉委員会・枚方市ライオンズクラブ・枚方シニアライオンズクラブ・枚方中央ライオンズクラブ・枚方ローズライオンズクラブ守口市社会福祉協議会・門真市社会福祉協議会・寝屋川市社会福祉協議会・四條畷市社会福祉協議会・交野市社会福祉協議会・大阪府社会福祉協議会・ひらかた市民活動支援センター・枚方市
 参加者 84人

（カ）災害ボランティア登録者数 79人（男性 34人・女性 45人）

7. 献血推進事業

少子高齢社会が進行するなか、血液製剤の国内自給を目指して献血協力者の拡大と400ml献血の献血者を安定的に確保するべく事業を実施している。令和6年度は京阪樟葉駅前開発に伴い京阪樟葉駅前での献血を実施できない期間があったなか、別の場所で献血協力者を確保するため店舗等へ協力を依頼しながら献血を実施した。枚方市駅献血ルームの啓発活動として関係機関・団体等の協力により市内全域にポスターを掲示し献血推進に努めた。

(1) 事業内容

①献血推進協議会開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
7/9	ラポールひらかた 研修室1	- 役員改選について - 令和6年度枚方市献血推進協議会事業報告 - 令和7年度事業計画について - 枚方市駅献血ルーム献血実績について - 令和7年度夏期献血街頭キャンペーン実施計画（案）について	17
10/30	ラポールひらかた 研修室1	- 夏期献血街頭キャンペーン結果報告について - 冬期献血街頭キャンペーン開催について - 枚方市献血推進協議会上半期献血実績について - 枚方市駅献血ルーム上半期献血実績について - 血液センター北大阪事業所上半期献血実績について	19

②研修会開催

7月9日（水）テーマ：「血液事業の現状」

講 師：大阪府赤十字血液センター北大阪事業所
事業課長 新井 崇嗣 氏

参加者：献血推進協議会委員10人

③街頭キャンペーン実施状況

京阪枚方市駅前献血ルーム周辺で、献血推進協議会委員・枚方市校区福祉委員会会長が、ティッシュペーパーを配布しながら献血協力を呼びかけるなどの啓発を行った。

(単位：人)

	実施日	場所	啓発参加者数	受付者数	採血者数
夏期	7月31日	京阪枚方市駅献血ルーム前	40	55	51
冬期	12月10日	京阪枚方市駅献血ルーム前	28	59	52

【実施時間】

夏期：午前10時～10時45分 午前11時00分～11時45分

冬期：午前10時～10時45分 午前11時00分～11時45分

④校区福祉委員会との連携

校区福祉委員会と連携し、14校区において15回献血を実施した（なお、1校区は2回実施）。広報活動として、PR用チラシの配布（全戸配布用・回覧用）とポスターの掲示を献血実施前に、当日は広報車にて校区内の巡回を行った。

枚方市駅献血ルームの冬期啓発ポスター掲示の協力を呼びかけ、献血推進の啓発を行った。

⑤関係機関・団体等との連携

関係機関・団体等との連絡調整を図り、組織的・効果的な献血推進活動を行った。

(2) 枚方市献血実績 (単位：人)

実施区分 (域)	受付者数	採血者数	採血者内訳			回数	主催団体 実施場所等
			400ml	200ml	成分		
街 頭	1833	1589	1553	36	0	50	樟葉駅前
		86.7%	97.7%	2.3%	0%		
学 域	519	388	322	66	0	16	大学・高等学校等
		74.8%	83%	17%	0%		
職 域	1154	995	969	26	0	49	事業所・病院 市役所等
		86.2%	97.4%	2.6%	0%		
地 域	533	465	453	12	0	15	校区福祉委員会
		87.2%	97.4%	2.6%	0%		
献血者計 (小計)	4,039	3,437	3,297	140	0	130	街頭～地域の合計
		85.1%	95.9%	4.1%	%		

献血ルーム	17,196	15,656	6,666	174	8,816	枚方市駅献血ルーム
		91.0%	42.6%	1.1%	56.3%	
総 合 計	21,235	19,093	9,963	314	8,816	採血車・献血ルームの合計
		89.9%	52.2%	1.6%	46.2%	

(採血者数下の％は、受付者数に対する割合。採血者内訳下の％は、採血者数に対する構成。なお、四捨五入した値を記載。)

8. 福祉サービス利用援助事業

利用者及び利用希望者（関係機関を含む）からの金銭管理に関する相談に対応し、複雑なケースに関しては、福祉関係者や法律職と連携をとりながら対応を行った。また、サービス利用者の状況により「こうけんひらかた」に見極め支援の協力を依頼しながら成年後見制度への移行を進めた。

(1) 事業概要

①目的

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人に対し、自立した地域生活を送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを行うことにより、権利擁護に資することを目的とする。

②実施事業

- (ア) 福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、代行・代理等）
- (イ) 日常的な金銭管理（日常管理通帳・印鑑の管理、公共料金等の支払い代行等）
- (ウ) 書類等の預かり（印鑑、各種証書等を貸金庫に保管）
- (エ) 監査委員会の運営（年2回開催）
- (オ) 関係機関との連携

③職員体制

専門員2人

生活支援員（サポーター）7人（うち5人は週5日7時間45分、2人は週4日5時間）

(2) 実績

①サービス提供状況（契約件数144件）（単位：件）

	実利用者数	内貸金庫利用者	内訳	
			新 規	解 約
認知症高齢者	26	2	3	7
知的障害者	51	22	3	7
精神障害者	67	10	11	5
計	144	34	17	19

※解約理由：死亡8件/成年後見6件/本人希望3件/施設入所1件/他市転居1件

②専門員稼働状況 (単位：件)

専門員	問い合わせ	初回相談	相談援助
	85	80	362

※相談援助（初期訪問、ガイドライン調査、利用者対応訪問 等）

(単位：件)

生活支援員	訪 問			手続代行等
	金銭授受	身上監護	計	
	2,713	398	3,111	

9. 精神保健福祉推進事業

こころに悩みのある人のための電話相談、セルフヘルプグループや家族会の活動支援のほか、自殺の予防や防止に向けた市民啓発の推進と各種情報提供を行った。

(1) 精神保健福祉推進事業

①こころの電話相談の支援

実施日時：毎日（12月31日・1月1日・1月2日を除く）午前10時～午後4時

相談員：電話相談ボランティア養成講座を受講した相談員 50人 交代制

実施日数：362日

相談件数：3,500件

②セルフヘルプグループや家族会への活動支援

こころの病の当事者グループ「ひらりの会」、心に病をもつ人の家族の会「わかちあう会」、自死遺族わかちあいのつどい「ふきのとうの会」、「枚方断酒会」への活動支援を行った。

(2) 枚方市自殺予防対策事業

自殺予防に係る専用相談電話の設置や自殺予防の役割を担う人材の養成、市民への情報提供や啓発を推進することにより、自殺を思い悩む人への支援体制の充実を図った。

①電話相談支援事業（ひらかた いのちのホットライン）

自殺予防に係る専門の研修を修了した者が、専用の電話相談「ひらかた いのちのホットライン」において、不安や悩みを抱え自殺を思い悩む相談者の思いを傾聴し、受け止めることにより、その苦悩を軽減することを目的に電話相談を行った。

・実施日時 毎週月・水・金曜日 午後1時～午後8時（12月31日、1月1日、2日を除く）
令和8年1月から実施日を毎週月・金曜日に変更

・相談員 こころの電話相談員の中で電話相談の経験とスキルが豊富なもの

・実施日数 142日 ・相談件数 987件

②人材養成事業

電話相談支援事業に従事する相談員の養成およびゲートキーパーを養成するための研修を実施。

(ア) フォローアップ研修

電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的に傾聴の研修を行った。

・ケース・スタディ研修 55回 420人 ・リーダー研修 4回 29人

・全体研修 1回 25人 ・個人SV 2回 2人

(イ) ゲートキーパー養成研修

自殺のサインに気づき、見守りや必要に応じて適切な専門相談機関へつなぐ役割を担う人材を養成することを目的に「ゲートキーパー養成研修」を開催した。

「令和7年度 ゲートキーパー養成研修」

日 時 令和8年2月6日（金）14時00分～15時30分

場 所 ラポールひらかた 3階 研修室1

講 師 野嶋社会保険労務士事務所

特定社会保険労務士/精神保健福祉士 宮原 麻衣子 氏

対 象 一般市民

参 加 者 27人

③普及啓発事業

9月の自殺予防対策週間や3月の自殺対策強化月間において、京阪枚方市駅構内や公共施設において自殺予防を啓発するポスターの掲出を行った。また市民に対する自殺予防についての啓発を行うとともに、改めて「命」について考えていただくことを目的に普及啓発講演会を開催した。

(ア)「令和7年度 自殺予防啓発ポスターの掲出」

1回目 日 時 令和7年9月2日(火)～9月15日(月祝)

場 所 京阪電車枚方市駅構内や市内公共施設

2回目 日 時 令和8年2月24日(火)～3月30日(月)

場 所 京阪電車枚方市駅構内や市内公共施設

(イ)「令和7年度 普及啓発講演会」

日 時 令和8年3月22日(日)14時00分～16時00分

場 所 ラポールひらかた 4階 大研修室

テーマ うつ白～そんな自分も好きになる～

講 師 サンフレッチェ広島アンバサダー 森崎 浩司 氏

対 象 一般市民

参加者 64人

(ウ) いのちを支える相談窓口を紹介するウェットティッシュ 3,200部を作成した。

10. 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉および社会参加の促進を図ることを目的として、生活福祉資金貸付事業を実施した。

またコロナ特例貸付を利用された借受人を対象に顕在化した生活の困りごと等への支援を推進するため、大阪府社会福祉協議会や枚方市自立相談支援センターと連携しながら生活困窮者世帯フォローアップ支援等推進事業を行った。

(1) 総合支援資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	4	1	1	1	1	4	2	0	0	2	5	2	23
窓口相談	0	0	1	0	0	0	1	2	0	2	0	2	8
自立相談機関からの情報提供及び相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
貸付申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貸付決定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 福祉資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	54	82	118	100	90	81	64	69	43	41	40	39	821
窓口相談	16	21	23	24	30	14	8	15	12	7	14	19	203
自立相談機関からの情報提供及び相談	10	20	18	18	15	22	22	34	13	14	8	11	205
貸付申請	5	3	8	6	16	2	0	6	1	3	4	4	58
貸付決定	5	3	8	6	16	2	0	6	1	3	4	4	58

(3) 緊急小口資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	63	68	39	74	39	64	83	55	47	40	33	62	667
窓口相談	12	9	6	12	6	13	12	11	15	10	15	24	145
自立相談機関からの情報提供及び相談	19	30	10	24	6	24	17	19	28	23	19	12	231

貸付申請	2	5	1	2	1	6	5	2	2	0	2	3	31
貸付決定	2	5	1	2	1	4	2	2	2	0	2	3	26

(4) 教育支援資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	42	33	33	17	27	22	18	36	56	36	53	67	440
窓口相談	4	3	12	1	3	4	7	10	18	11	10	15	98
自立相談機関 からの情報提供 及び相談	0	3	5	2	4	4	5	2	21	11	12	13	82
貸付申請	3	1	1	1	1	1	1	2	10	2	5	7	35
貸付決定	3	1	1	1	1	1	1	2	10	2	5	7	35

(5) 不動産担保型生活資金（要保護世帯向け不動産担保型生活資金を含む）

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	1	2	1	1	2	0	0	0	0	3	2	0	12
窓口相談	1	0	3	0	2	0	0	2	0	1	1	0	10
自立相談機関 からの情報提供 及び相談	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
貸付申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貸付決定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 新型コロナウイルス感染症 特例貸付フォローアップ支援

(単位：件)

①償還免除・償還完了者へのフォローアップ支援（対象の債権状態：償還免除/償還完了）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	69	46	17	45	49	38	38	42	37	47	25	82	535
窓口相談	5	16	4	3	17	21	31	27	17	12	15	7	175
メール SMS	0	6	0	2	0	0	9	3	5	4	4	20	53
郵送	0	0	0	0	0	2	0	0	3	3	3	13	24
訪問	0	0	0	0	0	3	0	5	0	0	0	2	10
チラシ配布 広報等	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
自立相談 支援機関 との連携	19	38	2	10	8	11	12	14	9	25	8	15	171

②償還・免除に関する手続きに未応答の借受人へのフォローアップ支援

（対象の債権状態：行方不明以外/行方不明）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	9	6	8	33	10	2	15	17	26	0	18	37	181
窓口相談	5	1	9	1	1	8	8	0	8	3	3	9	56
メール SMS	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	5
郵送	0	0	47	0	15	33	2	0	1	8	18	55	179

訪問	27	12	16	37	4	45	16	20	0	12	0	32	221
チラシ配布 広報等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自立相談 支援機関 との連携	6	9	9	15	4	0	1	15	6	0	2	5	72

③償還免除に至らないものの償還が困難な借受人へのフォローアップ支援（対象の債権状態：応答有）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	35	27	18	40	13	30	13	10	14	22	23	123	368
窓口相談	6	18	10	20	21	17	27	7	16	1	13	4	160
メール SMS	0	0	0	5	0	0	3	2	3	0	0	7	20
郵送	0	8	73	3	10	10	9	0	0	3	14	22	152
訪問	8	9	10	0	6	12	12	5	0	4	0	8	74
チラシ配布 広報等	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
自立相談 支援機関 との連携	6	9	11	9	2	6	17	5	10	10	7	9	101

④償還中・猶予中の借受人へのフォローアップ支援（対象の債権状態：順調償還中/償還猶予中）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	48	47	46	35	19	59	39	40	20	16	5	31	405
窓口相談	13	16	10	13	15	34	62	21	10	5	16	4	219
メール SMS	0	0	0	1	0	2	0	4	2	0	0	3	12
郵送	34	14	0	24	39	179	7	0	15	37	37	19	405
訪問	0	0	0	0	4	1	0	0	0	1	1	0	7
チラシ配布 広報等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
自立相談 支援機関 との連携	14	19	14	5	1	17	3	5	9	4	4	3	98

11. 12. 地域包括支援センター事業（第1圏域・第2圏域）

本会は、市内の地域包括支援センター13か所の内、第1圏域（社協こもれび）と第2圏域（社協ふれあい）を担当し、介護予防・日常生活支援総合事業、介護予防支援事業に取り組んだ。

介護予防・日常生活支援総合事業の一環としての元気づくり・地域づくりプロジェクトは、第1・2圏域5校区で取り組まれて、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいる。

社協こもれびでは、圏域の高齢者居場所同士の情報共有や活性化を図ることを目的とした居場所部会の開催や、高齢者が外出時に休憩できるいすを地域に広める「いすプロジェクト」に取り組んだ。

社協ふれあいでは、障害者の施設職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、高齢者だけでなく、障害者の関係機関との連携構築にも努めた。

地域包括ケアシステム構築のため、医療・保健・福祉の各専門職が顔をそろえる「多職種連携研究会」を開催し、また、第1・第2圏域合同での介護事業所懇談会を開催し、より広域での関係機関とのさらなる連携強化に取り組んだ。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、国保データベース（KDB）システム等を活用し、地域の健康課題の整理・分析を行い、健康教育・健康相談（ポピュレーションアプローチ）の実施や、健康状態不明者への個別の支援（ハイリスクアプローチ）、地域高齢者の疾病予防や重症化予防及びフレイル予防の促進に取り組んだ。

また、第1圏域社協こもれびについては、令和7年度で運営が終了するため、令和8年4月からのスムーズな移行に向けて、新しい運営者と密に連携を取りながら、引継ぎをおこなった。

（１）介護予防プラン作成

①第1圏域（社協こもれび）

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	163	168	177	176	180	186	179	177	181	178	181	185	2,131
委託	128	129	126	128	131	133	131	130	126	121	119	117	1,519
月計	291	297	303	304	311	319	310	307	307	299	300	302	3,650

②第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	189	186	192	202	200	199	210	201	207	201	220	218	2,425
委託	166	168	175	175	168	163	161	165	161	165	167	166	2,000
月計	355	354	367	377	368	362	371	366	368	366	387	384	4,425

（２）総合相談

①第1圏域（社協こもれび）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	107	114	112	100	114	116	125	78	110	75	82	95	1,228
来所	47	42	37	46	42	34	45	32	36	48	39	40	488
訪問	26	21	19	25	17	15	22	9	24	10	9	11	208
その他	3	17	4	1	0	2	0	2	1	0	2	1	33
月計	183	194	172	172	173	167	192	121	171	133	132	147	1,957

*新規・継続を含めた件数

②第2圏域（社協ふれあい）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	145	186	158	165	143	145	183	119	173	189	151	138	1,895
来所	17	19	19	10	13	15	15	16	15	15	11	14	179
訪問	18	26	24	38	22	28	29	24	45	28	18	21	321
その他	2	2	10	37	26	1	0	0	4	2	0	1	85
月計	182	233	211	250	204	189	227	159	237	234	180	174	2,480

*新規・継続を含めた件数

（３）各種事業の実施

①高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

（ア）第1圏域（社協こもれび）

- ・ポピュレーションアプローチ3回実施

樟葉北校区（11/17）

樟葉南校区（2/17）

樟葉校区（9/3）

- ・健康状態不明者への個別支援（ハイリスクアプローチ）訪問実施数（延べ）22件

（イ）第2圏域（社協ふれあい）

- ・ポピュレーションアプローチ4回実施

樟葉西校区

・健康状態不明者への個別支援（ハイリスクアプローチ）訪問実施数（延べ）26 件

②介護予防普及啓発事業（高齢者元気はつらつ健康づくり事業）

（ア）第1圏域（社協こもれび）

令和7年度は開催なし。

（イ）第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
6/20	牧野北団地第1集会所	ノルディック健康講座	15
10/20	池上鍼灸整骨院	転倒予防教室	15
2/18	牧野生涯学習市民センター	男性料理教室	9

③地域ケア会議・事業所懇談会等

（ア）第1圏域（社協こもれび）

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
4/24	社協こもれび会議室	居宅介護支援事業所懇談会	15
5/19	社協こもれび会議室	多職種連携研究会事務局会議	8
5/27	サンプラザ調剤薬局楠葉店	第1・第2圏域合同待合室懇談会	9
6/3	社協こもれび会議室	いすプロジェクト推進チーム会議	9
6/9	社協こもれび会議室	個別地域ケア会議	12
6/19	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	7
6/27	楠葉生涯学習市民センター	第1・第2圏域合同居宅介護支援事業所懇談会	15
7/22	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議（第26回）	22
7/29	楠葉生涯学習市民センター	多職種連携研究会	35
8/21	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	9
8/26	楠葉生涯学習市民センター	法定外研修	34
10/29	楠葉生涯学習市民センター	第1・第2圏域通所介護事業所懇談会	39
11/4	社協こもれび会議室	いすプロジェクト推進チーム会議	9
12/18	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	7
12/10	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議（第27回）	20
1/28	社協こもれび会議室	圏域懇談会	11
2/19	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	8
2/20	社協こもれび会議室	楠葉校区民生委員懇談会	13
2/27	楠葉生涯学習市民センター	第1・第2圏域通所介護事業所懇談会	22
3/2	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域高齢者居場所部会	8
3/4	社協こもれび会議室	楠葉北校区民生委員懇談会	9
3/16	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議（第28回）	20

（イ）第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/27	牧野北団地集会所	牧野校区元気づくり・地域づくり会議	10
5/8	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	9
5/15	センチュリー4番館集会所	フレイル予防教室	22
5/15	関西記念病院	居宅介護支援事業所懇談会	10
5/27	サンプラザ調剤薬局楠葉店	第1・第2圏域合同待合室懇談会	9
6/9	ファインシティ集会所	フレイル予防教室	17
6/24	西船橋集会所	フレイル予防教室	16
6/27	楠葉生涯学習市民センター	第1・第2圏域合同居宅介護支援事業所懇談会	15
7/15	社協ふれあい会議室	居宅介護支援事業所懇談会	20
7/15	社協ふれあい会議室	居宅介護支援事業所連絡会	17
7/25	社協ふれあい相談室	個別地域ケア会議	6
8/22	楠葉生涯学習市民センター	樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議	15
9/11	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	9

9/16	社協ふれあい会議室	居宅介護支援事業所懇談会	13
10/17	社協ふれあい会議室	認知症予防教室	14
10/29	楠葉生涯学習市民センター	第1・第2圏域通所介護事業所懇談会	39
11/7	社協ふれあい会議室	フレイル予防教室	15
11/10	ファインシティ集会所	転倒予防教室	20
11/11	社協ふれあい会議室	居宅介護支援事業所懇談会	17
11/11	社協ふれあい会議室	居宅介護支援事業所連絡会	16
11/28	社協ふれあい会議室	認知症予防教室	13
12/11	WEB開催	多職種連携研究会	8
12/23	並木自治会館	居宅介護支援事業所連絡会	25
1/8	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	14
2/19	楠葉生涯学習市民センター	多職種連携研究会	31
3/18	楠葉生涯学習市民センター	樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議	15

④地域介護予防活動支援（出前教室、認知症サポーター養成講座など）

（ア）第1圏域（社協こもれび）

場 所	内 容
北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい 出張相談 4/26・6/28・10/25・2/28
中楠葉集会所	中楠葉ふれあいカフェ 出張相談・出前講座 4/23・6/25・8/27・10/22・12/24・2/24
朝日美咲自治会集会所	あさみ歌のつどい 出前講座 4/9・5/14・6/11・7/9・8/13・9/10・10/8・12/10・1/14・2/11・3/11 あさみカフェ 出張相談 4/6・6/1・8/3・10/5・12/7・2/1
南楠葉集会所	サロン等 出張相談 4/10・6/12・8/14・10/9・12/18・2/12
楠葉野会館	いきいきサロン等 出張相談 5/20・7/15・9/16・11/18・1/20・3/17
楠葉野田区公民館	公民館カフェ 出張相談・出前講座 5/15・6/19・7/2・9/3・11/5
北楠葉自治会館	出前講座 9/26 おしゃべりカフェ 5/25・7/25・9/25・12/25・3/25
野田北集会所	出張相談 4/25・12/27・1/17
町楠葉福祉会館	出張相談・出前講座（認知症予防・運動教室等） 5/13・7/8・9/9・10/14・11/4・12/9・2/10・3/10
茶の音	出張相談 4/3・5/1・6/5・9/4・10/2・11/6・12/4・1/15・2/5・3/5
楠葉台集会所	出前講座 10/30

（イ）独自介護予防活動 こもれび教室・こもれびサークル

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
4/10	社協こもれび会議室	こもれび教室「健康長寿のためのフレイル予防」	8
5/8	社協こもれび会議室	こもれび教室「姿勢改善体操」	11
6/12	社協こもれび会議室	こもれび教室「悪徳商法や詐欺被害防止について」	12
7/10	社協こもれび会議室	こもれび教室「睡眠リカバリーとは？」	13
8/14	社協こもれび会議室	こもれび教室「健康度を測りましょう」	8
9/11	社協こもれび会議室	こもれび教室「認知症ステップアップ講座」	8

10/9	社協こもれび会議室	こもれび教室「防犯教室」	19
11/13	社協こもれび会議室	こもれび教室「骨密度測定と骨の健康」	7
11/20	社協こもれび会議室	こもれびサークル「防災講座①」	10
12/4	社協こもれび会議室	こもれびサークル「防災講座②」	11
12/10	社協こもれび会議室	こもれびサークル「防災講座③」	8
12/11	社協こもれび会議室	こもれび教室「音楽で介護予防」	16
12/18	社協こもれび会議室	こもれびサークル「防災講座④」	12
1/8	社協こもれび会議室	こもれび教室「聴こえの勉強会」	5
2/12	社協こもれび会議室	こもれび教室「人生会議って？」	21
3/12	社協こもれび会議室	こもれび教室「フレイル予防」	18
4～3月	社協こもれび会議室	毎週火曜日（くらわんか体操 自主グループ）	49回
4～3月	社協こもれび会議室	毎週水曜日（くらわんか体操 自主グループ）	49回

（ウ）第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
6/10	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	11
6/24	西船橋自治会館	オーラルフレイル予防	15
7/8	社協ふれあい会議室	転倒予防教室	24
7/13	社協ふれあい会議室	熱中症対策講座等	21
10/8	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	8
10/20	社協ふれあい会議室	フレイル予防教室	23
11/5	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	11
11/20	センチュリー4 番館集会所	認知症予防教室	10
11/25	西船橋自治会館	認知症予防教室	15
12/3	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	10
1/13	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	9
1/14	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	10
2/12	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	9
3/5	社協ふれあい会議室	認知症サポーター養成講座	17
3/11	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	11

・ひらかた夢かなえるエクササイズ オンラインによるサテライト開催を実施
社協ふれあい会議室にて月2回（第2・4金曜日の午前）

・ひらかた元気くらわんか体操の啓発
養父元町公園にて、月曜日9時30分から開催（雨天中止）

⑤実習生の受け入れ

（ア）第1圏域（社協こもれび） 関西医科大学、大阪医専、摂南大学
（イ）第2圏域（社協ふれあい） 大阪医専、摂南大学

（4）地域密着型サービスの運営推進会議出席

①第1圏域（社協こもれび）

- ・グループホーム「くずは丘」運営推進会議に出席
- ・小規模特別養護老人ホーム「くずは美郷」の運営推進会議に出席
- ・地域密着型通所介護「一心」の運営推進会議に出席
- ・地域密着型通所介護「デイサロンあさひ」の運営推進会議に出席

②第2圏域（社協ふれあい）

- ・小規模特別養護老人ホーム「くずは西美郷」の運営推進会議に出席
- ・小規模多機能ホーム「まきの美郷」の運営推進会議に出席
- ・地域密着型通所介護「レコードブック樟葉」の運営推進会議に出席
- ・地域密着型通所介護「こまり」の運営推進会議に出席
- ・グループホーム「のぞみ」運営推進会議に出席
- ・グループホーム「若葉」運営推進会議に出席

(5) 地域包括支援センター関係者会議出席

市内 13 か所の地域包括支援センターを円滑に運営するため、全体会議・保健師部会・社会福祉士部会・主任介護支援専門員部会・認知症施策推進委員会が定例で開催され、担当者が出席した。

13. 居宅介護等事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業、介護保険法による訪問介護事業を行った。事業全体の内、介護保険事業の割合は 4.8%となっている。本会は利用者の意思及び人格の尊重とサービスの一層の充実を図るため、差別解消や虐待防止にも思慮し、毎月 2 回のサービス提供責任者会議およびヘルパー会議を行い、個別研修は年間 6 回行った。ヘルパーの意欲や質の向上をより高めるため、利用者サービスの心構えや危険を未然に防ぐ方法など、現任のヘルパーを対象に研修会を実施した。ヘルパー会議では個別ケースをヘルパー間で共有し、注意点の確認を行った。ヘルパー業務の見直しや環境の整備等を検討するために業務改善委員会を設置し、2 か月に 1 回を基本に委員による協議を行った。

また、自然災害発生時における対応の指針として居宅介護等事業版 BCP を作成し、机上訓練を行った。

事業者が連携し障害者総合支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の役員として利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、中心的な役割を担った。

ホームヘルパーは 3 人雇用をすることができたが、フルタイムで稼働できる人材は少ない状況。退職者も 1 人ありヘルパー不足は変わらず人材の確保は継続的な課題である。

(1) 利用者（契約）状況

ホームヘルプ事業の新規契約者は 4 人（知的 3 人・精神 1 人）、契約解除者は 3 人（知的 1 人・精神 1 人・介護保険 1 人）であった。

新規契約者の利用理由は、住み慣れた地域で自立するための生活基盤を安定するための支援であり、解約の理由は利用者都合である。3 月現在の契約者は全体で 84 人となっている。利用者の内訳は、知的が 41 人で最も多く、身体 17 人、精神 18 人、児童 1 人、難病 1 人、重度訪問介護 2 人、介護保険 4 人となっている。

利用者の生活に応じた支援のため、ヘルプ時間は早朝夜間に集中している。障害に起因する疾病等で入退院を繰り返されるケースや、ADL の低下により長期入院が必要になったケース、重度化によりこれまで以上に介護が必要になったケース、親が高齢化により施設入所等で支援ができなくなり一人暮らしとなり介護の時間が増えたケースなどがあった。在宅生活を希望される利用者本人の意向に寄り添い、ケース会議を開く等、他機関との連携も多く行った。

(単位：人)

月	障害者総合支援法						介護保険法	事業合計
	居宅介護					重度訪問 介護	訪問介護	
	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者	難病			
4	17	40	1	18	1	2	5	84
5	17	40	1	18	1	2	5	84
6	17	40	1	17	1	2	5	83
7	17	40	1	17	1	2	5	83
8	17	40	1	17	1	2	5	83
9	17	40	1	18	1	2	4	83
10	17	41	1	18	1	2	4	84
11	17	41	1	18	1	2	4	84
12	17	41	1	18	1	2	4	84
1	17	41	1	18	1	2	4	84
2	17	41	1	18	1	2	4	84
3	17	41	1	18	1	2	4	84

※新規契約者は月末にカウントし、解約者は次月の月初にカウント

※居宅介護と訪問介護の両方の利用者 1 人はそれぞれでカウント

(2) 利用時間

ホームヘルプ事業の利用時間は、月平均 1,625.5 時間で、昨年度と比して 98.4 時間の減となった。内訳は障害福祉サービスにおいて居宅介護で 74.2 時間の減、通院介護においては 5.4 時間の増。介護保険は利用者 1 人の契約終了により利用時間が 29.6 時間の減となっている。

(単位：時間)

月	ホームヘルプ事業利用時間								合 計
	障害者総合支援法居宅介護事業 (身体・知的・児童)			通院介護		介護保険訪問介護事業			
	家事援助	身体介護	重度訪問介護	身体介護		生活援助	身体	身体→生活	
				伴う	伴わない				
4	245.7	1,030.5	82.6	96.0	10.6	23.1	58.0	75.5	1,622.0
5	249.7	1,074.1	82.3	78.7	3.8	21.6	57.7	81.0	1,648.9
6	236.1	1,044.5	91.2	96.3	6.3	21.0	46.8	44.5	1,586.7
7	253.9	1,118.5	88.2	86.6	9.1	23.0	47.7	46.9	1,673.9
8	238.5	1,027.8	83.8	84.5	3.0	21.0	44.7	48.8	1,552.1
9	244.3	1,067.8	85.7	102.8	8.6	22.1	42.3	44.0	1,617.6
10	255.5	1,094.0	88.4	82.6	13.8	14.0	42.8	57.7	1,648.8
11	231.3	1,039.6	64.8	75.6	14.2	12.0	33.6	53.1	1,524.2
12	257.2	1,089.9	90.4	102.6	12.8	15.0	46.8	56.3	1,671.0
1	244.1	1,137.5	83.8	71.6	34.9	13.0	44.4	60.0	1,689.3
2	228.0	1,042.3	77.0	95.0	12.9	12.0	41.3	52.0	1,560.5
3	253.7	1,154.5	72.7	91.9	25.4	13.0	45.3	54.5	1,711.0
合 計	2,938.0	12,921.0	990.9	1064.2	155.4	210.8	551.4	674.3	19,506.0
月平均	244.8	1076.8	82.6	88.7	13.0	17.6	46.0	56.2	1625.5

月平均 利用時間	1625.5時間	総合支援ホームヘルプ 約 1,505.9時間 介護保険ホームヘルプ 約 119.8時間
-------------	----------	--

(3) ホームヘルパー現任研修

【全体研修】

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/21	ラポールひらかた 大研修室	前期研修 『聴くことが支援になる ～傾聴がつなぐところ～』 講師：認定 NPO 法人 国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター 北條 達人氏	37
3/15	ラポールひらかた 大研修室	後期研修 『誰もが安心して住みたい街に住める世の中に』 講師：有限会社啓友エステート ケアリンクハウス 代表取締役 上山 登子氏	36

【個別研修】

5/18	ラポールひらかた 研修室1	『グループワークを通して 意思決定支援の限界を考える』	15
5/20	ラポールひらかた 研修室1	『利用者との心を繋ぐ声かけ研修』	12

7/15	ラポールひらかた 研修室3	『自分の気持ちに正直に～自分の心の声～』	11
7/20	ラポールひらかた 研修室1	『僕の頭の中の落書きたち』	14
11/16	ラポールひらかた 研修室 1	『寄り添う支援とは』	16
11/18	ラポールひらかた 研修室 1	『旧優生保護法 最高裁判決を通して考える』	15

【その他研修】

(単位：人)

1/18	ラポールひらかた 研修室 1	『BCP 机上訓練』	25
1/20	ラポールひらかた 研修室 1	『BCP 机上訓練』	10

14. 移動支援事業

障害者総合支援法に基づく市町村事業である地域生活支援事業の移動支援事業(ガイドヘルプ事業)として余暇活動、事業所及びショートステイ施設・入所施設への送迎等のサービスを行った。

今年度は、夏が猛暑で、熱中症等が心配され、散策の時間の短縮や室内活動に絞る等、派遣時間の短縮を余儀なくされた。また、いまだに新型コロナウイルスによるキャンセルも発生し、インフルエンザに関しては事業所の休所もあり利用時間数が減少した。利用者の高齢化に伴い、ガイド中に発生する経費の確保が困難になる方もあり、安価で長時間楽しめる余暇ガイドの工夫などがみられた。本事業は単なる余暇支援ではなく、利用者が地域で暮らすための生活支援の一端を担っているため、関係機関との連携を積極的に行い、必要に応じてサービス調整会議を開催した。また、現任研修として、猛暑を乗り越えたガイドヘルパーの健康維持のため、身体のメンテナンスに役立つストレッチ研修を行った。また、ガイドをする際に必要な知識を定着するため日常業務に役立つ内容の実践研修も行った。

ガイドヘルパーの確保は有料サイトも含め各方面で募集を行ったが、4人の登録にとどまった。他職種からの転職を呼びかけるイベントを他法人と協力しながらおこなった。

(1) 利用(契約)者状況

移動支援事業では、新規契約者は4人。契約者は3月末現在、301人で今年度については月平均152人の利用があった。解約者は3月末で1人となっている。本会への契約希望者は多く、移動支援の利用のニーズの高さが伺えるが、現状の利用者へのサービスの質及び量の確保のため、緊急の場合を除いて新たな契約者を制限していたが、3月より若干受け入れを始めた。

ガイドヘルパーの増員など試みたが、年齢や引っ越しなどによる減員が上回り待機の解消には至らなかった。

なお、身体障害者・精神障害者のある人の契約は本会居宅介護事業を利用中の人としており、知的障害との重複者については知的障害者に含めている。

(単位：人)

月	移 動 支 援 事 業				合 計
	身体障害者	知的障害者	児 童	精神障害者	
4	12	285	1	0	298
5	12	285	1	0	298
6	12	285	1	0	298
7	12	285	1	0	298
8	12	284	1	1	298
9	12	284	1	1	298
10	12	285	1	1	299
11	12	285	1	1	299

12	12	285	1	1	299
1	12	285	1	1	299
2	12	285	1	1	299
3	12	287	1	1	301

(新規契約者は月末に解約者は月初にカウント)

(2) 利用時間

市町村事業である移動支援事業は、他市のように1か月の区切りで時間が制限されるのではなく3か月で150時間というように利用時間を調整できるニーズに即した利用しやすい制度となっている。

今年度は、全面的な回復を期待していたが、総利用時間は、44,144.25時間で月平均3,678.69時間となり、昨年度と比較して月平均約110時間の減となった。主な原因は、通所送迎に関し、インフルエンザが猛威をふるい事業所が休所となったり、グループホームの移転で、事業所との距離が広がり、徒歩送迎ではなく、送迎バスの利用になったこと、ガイドヘルパーが高齢化により稼働時間に制限が入るなど、依頼すべてに対応できない状況となったためである。

余暇ガイドを利用したいという需要はあり、特に家族の高齢化により支援が困難になったり、親亡き後1人暮らしになり買い出しなどガイドに求められるニーズも多様化してきている。しかし、対応できるガイドヘルパーの数は慢性的に不足しており、新規利用者の受け入れを制限せざるを得ない状況等も続いている。SNS等を利用しガイドヘルパーを募集したが、増員には至らなかった。本事業は障害のある人にとって、社会とのつながりを保つためにはなくてはならない支援のひとつであり、継続するためにも、新たな人材確保が必要である。

(単位：時間)

移 動 支 援 事 業						
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
3,647.25	3,950.50	3,718.25	3,732.75	3,773.25	3,601.25	3,584.00
11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均利用時間
3,890.75	3,594.75	3,651.00	3,305.50	3,695.00	44,144.25	3,678.69

(3) ガイドヘルパー現任研修会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/24 10:30	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「夏の疲れをリセット講座 ～自分をととのえる癒しの時間～」 講 師：丘の上の鍼灸院 鍼灸師 山内 萌 氏	78
13:30			25

15. 地域活動支援センター（ゆい）事業

「地域支援センターゆい」では、障害のある人の地域生活を支援することを目的に、地域活動支援センターⅠ型事業や障害者相談支援事業を実施した。

地域活動支援センターⅠ型事業では、居場所づくりや交流を目的に、サロン活動を行った。定期的に行っているプログラム活動では、講師を招き、手話や編み物、書道などを実施した。また、月2回の「いろいろプログラム」ではサロン利用者からの意見を取り入れ、料理や創作活動、外出活動（映画鑑賞など）を実施した。また、当事者の悩みや日々の出来事など、自分の思いを伝えあう「学習会」では、今後どのように暮らしていくか、健康について考えるなどの意見が聞かれ、将来を考えるよい機会になった。

障害者相談支援事業では、電話、来所、訪問等により、当事者やその家族からの相談対応を行った。基幹型相談支援センターとして、枚方市・大阪府関係機関をはじめ、児童・高齢・医療といった障害福祉以外の幅広い分野からの相談に対応した。近年の傾向でこれまで、知的障害者からの相談が大半を占めていたが、令和7年度も行政・教育機関や精神障害者及び身体障害者からの相談が増加した。

「枚方市自立支援協議会」にも参画。障害者施策に関する検討や提案を行った。また、障害者週間では枚方市知的障害者福祉ネットワークで作成した啓発チラシを、障害当事者と共に枚方市駅周辺にて配布した。

(1) 地域活動支援センター事業 I 型

基 礎 的 事 業			I 型 事 業		
	創作活動	生産活動	その他	医療・福祉及び地域との連携のための調整	地域住民・ボランティア育成 障害に対する理解促進を図るための普及活動
合計	445 人	115 人	5,869 人	65 回	220 人 10 回

(2) ジョイジョイサークル活動・当事者の集い

(単位：人)

事 業 名	開催月	参加者数	ボランティア数	内 容
ジョイジョイサークル (市内在住・就労の知的障害のある人を対象にレクリエーションを中心としたサークル活動)	4月	18	0	ミーティング
	5月	22	4	ボウリング
	6月	16	0	ミーティング
	7月	10	42	ふれあいスポーツ交流会
	8月	18	0	学習会・ミーティング
	9月	21	2	外出活動(奈良散策)
	10月	16	0	ミーティング
	11月	19	8	わいわいウォークラリー
	12月	21	4	ジョイフルクリスマス会
	1月	25	8	新年会
	2月	19	0	学習会・ミーティング
	3月	22	4	日帰りバス旅行 (姫路セントラルパーク)
合 計 (延べ人数)		227	72	

(3) 学習会

(単位：人)

月 日	開催テーマ	参加者人数	支援者等	合 計
8/17	いっしょに学ぼう いっぱい語ろう	32	4	36
2/15	いっしょに学ぼう いっぱい語ろう	36	13	49

(4) わいわいウォークラリー

(単位：人)

月 日	参加者人数	支援者等	ボランティア	合 計
11/2	65	38	14	117

(5) 障害者相談支援事業

(単位：人)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
相談件数	1,229	32	597	195	19	186
	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
相談件数	172	684	84	29	57	37
合計 (のべ件数)						3,321

16. 障害者活動支援事業

障害のある人の社会参加や交流する機会として、各種レクリエーション行事を開催した。

「ふれあいスポーツ交流会」は、各団体代表の当事者委員による実行委員会を中心に企画・運営を行い令和7年度は6団体が実行委員会に参加した。感染症等の拡大防止に努めながら行い、競技内容も個人種目・団体種目と安全面に配慮しながら開催した。近年の傾向で団体参加に変化はなく、個人参加の参加者が多かった。アトラクションでは関西・大阪万博にも出演した「盆踊りグループ」と「吹奏楽グループ」の2団体が参加してくれた。

「ジョイフルクリスマス会」は、令和7年度は定員90人とし、定員を超える申し込みがあったが、イベント当日は体調不良等でキャンセルがあり最終参加者は87人であった。参加者を交えたオープニングセレモニーを開催し、コーラスやダンスなど参加型のアトラクションを楽しみ盛り上がった。

(単位：人)

事業名	開催日	参加者数	ボランティア数	内 容
ふれあいスポーツ交流会	7/12	166	42	レクリエーション行事 ：KTM河本工業総合体育館 《アトラクション》 ○盆踊り「スターダスト河内」 ○吹奏楽 「コモド・ウィンド・アンサンブル」
ジョイフルクリスマス会	12/21	87	4	レクリエーション行事 ：ラポールひらかた大研修室 《アトラクション》 ○コールウィステリア ○三線「ひらかた三線愛好会」 ○ハンドベル 「御殿山キラ星ハンドベルクワイア」 ○大阪歯科大ダンス同好会

17. 共同生活援助事業

利用者の高齢化や死亡による退去や利用者の地域生活でのニーズの変化に伴い令和7年10月31日付けで、「ひまわり」を廃止、定員の変更を行い、運営体制の適正化を図った。

利用者については、より安心した生活が送れるようメンバーを組替、落ち着いて過ごせる環境を整えた。11月からは、3か所のグループホーム「れいんぼう」「憩い苑ホーム」「たんぼぼ」の運営を行った。

各グループホームにおいて、利用者の引越し、世話人等人員の異動、支援体制等の変更があり、通常にはない繁雑な手続きが続いた。また、通院が必要な利用者も増加しており、障害分野だけではなく高齢分野や医療分野等、関係機関との連携も行った。

グループホームの運営を担う世話人の資質向上・育成を目的とした研修会では、差別解消の一環として、精神障害のある方への対応などワークショップも行い理解を深める機会となった。また、世話人の支援の在り方の基礎を学ぶ研修も行った。また、世話人・利用者の異動による変化に対応するため、各ホーム間での実習を多く取り入れ安心して移行ができる機会を確保した。

自己点検アンケートを実施し、一人ひとりの日常の仕事について、振り返るとともに、支援の質の向上のため利用者アンケートを実施し、コミュニケーションのあり方など課題点を把握し改善を図った。

グループホーム世話人研修

(単位：回／人)

実施時期	内 容	場 所	回数	参加者(延べ)
入職時に実施	世話人のあり方(現地実習)	各グループホーム	6	6
毎月各ホーム1回 臨時研修 1回 ホーム間実習14回	利用者の支援について 個別支援計画等	各グループホーム	60	282

4/23	虐待防止、感染予防について	ラポールひらかた	1	18
7/31	食中毒について	ラポールひらかた	1	13
3/13	障害者差別解消法について	ラポールひらかた	1	10

18. 成年後見等事業

成年後見制度を必要とする人が安心して制度利用できるよう、市民向け講演会を開催するとともに、支援者向け研修会、親族後見人向け勉強会・交流会を実施した。個別相談では、成年後見制度や権利擁護に関する相談対応、申立て手続きに関する説明等を行った。法的課題や専門的知識が必要となる複雑なケースについては、市民が無料で相談できる、弁護士、司法書士、社会福祉士による専門相談や、各相談支援機関等からの要請による専門職派遣事業も行い、成年後見制度利用の必要性の判断や課題整理、支援方針についての助言を行った。

また、事業の円滑かつ適正な運営、権利擁護支援システムの推進及び検討等を行う「ひらかた権利擁護成年後見センター運営委員会」、専門職団体や枚方市内の関係機関が自発的に協力する体制づくりを進める「枚方市地域連携ネットワーク協議会」、日々相談業務にあたる支援者を中心として、チーム支援の現状や課題について共有や検討を図る「相談支援部会」を開催した。

さらに、市民後見人の養成や資質向上について、枚方市及び大阪府社会福祉協議会と連携しながら研修等を実施したほか、市民後見人向け情報紙の作成や後見活動に対して継続的な支援を行った。

加えて、令和6年10月より受託している「ひらかた縁ディングサポート事業」では、様々な反響を受け、令和7年4月より所得要件や持ち家に関する要件を緩和。十分な資力がないなど民間による支援を受けられない身寄りのない高齢者等を対象に、意思決定支援を確保しながら、日常生活支援に加えて入退院時の支援や死後の事務支援等を行った。

(1) 成年後見制度に関する相談・支援

① 主たる相談者

(単位：件)

相談者内訳	件数	相談者内訳	件数
本人	64	友人・近隣住民等	4
家族・親族	435	金融機関	1
支援関係者	370	その他（匿名）	41
合 計			915

② 対象者（重複あり）

(単位：件)

対象者内訳	件数	対象者内訳	件数
認知症高齢者	331	精神障害者	198
知的障害者	68	その他	377
合 計			974

③ 相談内容（重複あり）

(単位：件)

内 容	件数	内 容	件数
成年後見に関すること	629	財産管理関係	231
任意後見に関すること	115	D V ・虐待関係	6
申立てに関すること	427	権利擁護関係	28
福祉制度・サービス関係	41	チーム支援	61
身上保護関係	126	その他	105
合 計			1,769

(2) 専門職による専門相談及び専門職派遣事業の実施

専門職の弁護士・司法書士・社会福祉士による無料の専門相談を市民向けに開催。またチーム支援を行うため、成年後見制度や権利擁護支援に精通した専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士）を現場に派遣し、課題の整理等を行う専門職派遣事業を実施。

① 専門相談

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	2	0	1	5	3	1	1	0	1	1	1	19

※毎月第2・3・4水曜日に予約制で開催 1回最大3組まで

② 専門職派遣事業

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

※毎月第1・3水曜日に支援者からの予約制で開催 1回1組のみ

(3) 会議の開催状況

① 運営委員会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/12	ラポールひらかた 3階 研修室2	・令和6年度の取り組みについて ・令和7年度の取り組み予定について	4
2/17	ラポールひらかた 3階 研修室2	・令和7年度の取り組みについて ・専門職派遣事業について	4

② 枚方市地域連携ネットワーク協議会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/30	ラポールひらかた 3階 研修室1	・各構成団体からの報告 ・センターの取り組みについて ・専門相談について ・事例集の活用について ・支援者向け研修について	14
3/2	ラポールひらかた 3階 研修室1	・各構成団体からの報告 ・センターの取り組みについて ・地域におけるネットワーク構築の事例 ・相談支援部会について	13

③ 枚方市地域連携ネットワーク協議会 相談支援部会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/26	ラポールひらかた 4階 研修室4	・相談支援部会について ・事例紹介	5
8/28	ラポールひらかた 4階 研修室4	・前回の振り返り ・事例紹介	5
12/11	ラポールひらかた 4階 研修室4	・前回の振り返り ・枚方市地域連携ネットワーク協議会の報告 ・事例紹介	5

(4) 研修・講習会

① 市民啓発講座

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/24	ラポールひらかた 4階 大研修室	テーマ：寸劇でわかる「成年後見制度」 講師：(公社)コスモス成年後見サポートセンター 大阪府支部	32
10/7	ラポールひらかた 4階 大研修室	テーマ：判断能力の低下した人を守る～法定後見制度とは～ 講師：餘家 守 氏 / (公社)成年後見センター・リーガルサポート大阪支部	62
10/14	ラポールひらかた 4階 大研修室	テーマ：元気なうちからの備え～任意後見制度とは～ 講師：藤本 就子 氏 / (公社)成年後見センター・リーガルサポート大阪支部	59
10/29	ラポールひらかた 4階 大研修室	テーマ：成年後見制度との違い～家族信託とは～ 講師：松本 康男 氏/(一社)家族信託普及協会	48
1/16	ラポールひらかた 3階 研修室1	テーマ：親なきあとの備えについて 講師：藤井 奈緒氏/(一社)親なきあと相談室関西ネットワーク	40

② 支援者研修

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
11/19	ラポールひらかた 3階 研修室1	テーマ：①「事例から考える成年後見制度の活用方法」 ②「今さら聞けない成年後見制度の基礎知識」 講師：①前川 敦 氏/(公社)大阪社会福祉士会 ②センター職員	32

③ 親族後見人研修

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
3/18	ラポールひらかた 2階 集会室	親族後見人向け勉強会&交流会 テーマ：知っておきたい 親族後見人の心得 講師：石田 喜子 氏 / (公社)成年後見センター・リーガルサポート大阪支部	8

④ 説明会・研修会への出張

月 日	対象者	内 容
7/10	枚方市発達障害親の会 ポレポレネットワーク	テーマ：～ひとりで決めることが不安な人を支える～ 『成年後見制度』とは
7/28	クッキー工房おれんじはうす 利用者家族	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度 ～「成年後見制度」と「こうけん ひらかた」～
8/1	香里校区福祉委員会	テーマ：事例から考える権利擁護と成年後見制度 ～地域の“つながり”が支えになる～
9/25	地域包括支援センター 第4圏域事業所職員	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度 ～「成年後見制度」と「こうけん ひらかた」～
12/16	相談窓口・多職種連携会議	テーマ：『事例で学ぼう！！権利擁護支援』
1/23	ひらかたいいききマイレージ 登録者	テーマ：ひらかた権利擁護成年後見センターについて
2/4	大阪府立むらの高等支援学校 保護者	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度 ～「成年後見制度」「日常生活自立支援事業」～

(5) 広報・啓発活動

- ①パンフレット 700部 増刷
- ②市民後見人向け情報誌作成
- ③こうけん ひらかたホームページ運用

(6) 市民後見人養成事業

市民後見人の後見活動の支援や大阪府社会福祉協議会が行う市民後見人養成講座への応援、バンク登録者への支援業務を行った。

- ・市民後見人バンク登録者 24人 (R8年3月31日現在)
- ・市民後見人受任件数 3件

①市民後見人の活動支援状況(市民後見人からの相談内容) (単位:件)

内 容	件 数	内 容	件 数
選任までの支援	6	居住地について	11
家庭裁判所への報告書作成	23	地域との連携	0
身上保護(医療・介護サービス)	23	終了・辞任について	9
財産管理・金銭管理	22	センター業務について	1
対象者の理解と支援	29	その他	18
関係機関との連携	38		
計			180

②市民後見人養成事業

- ・市民後見人養成講座への同行 9/6 ~ 1/31
- ・オリエンテーション
- ・市民後見人養成講座 基礎講習 4回
- ・市民後見人養成講座 実務講習 5回
- ・市民後見人養成講座 受講者面接 2回

③市民後見人バンク登録者フォローアップ研修 (単位:人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/12	ラポールひらかた 研修室1	テーマ: 高齢者を狙う悪質商法について 内 容: 消費者トラブルの事例や手口、対処法を把握し、 市民後見活動に役立つ知識を深める ①消費生活の専門家による消費者問題 ②グループワーク・交流会 講 師: 枚方市立消費生活センター 消費生活相談員 田中 雅代 氏	5
3/16	ラポールひらかた 研修室1	テーマ: 意思決定支援について 内 容: 意思決定が求められる背景や基本的な考え方、 意思決定を踏まえた後見事務を学ぶ ①意思決定支援について ②グループワーク・交流会 講 師: 公益社団法人 大阪社会福祉士会 社会福祉士 田村 満子 氏	5

(7) 法人後見事業

判断能力が低下した利用者を対象として、本会が成年後見人等となり、対象者の財産管理・身上監護を行った。

①受任件数

(単位：件)

内 訳	後見	保佐	補助
認知症高齢者等	4	2	0
知的障害者等	2	0	0
精神障害者等	3	0	0

②支援回数

589 回（自宅・施設訪問、金銭の支払い業務、契約・解約手続、届出・報告書等）

③法人後見事業審査委員会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/30	ラポールひらかた 4 階 研修室 3	支援内容に関する審査 法人後見等の受任に関する審査	6

(8) ひらかた縁ディングサポート事業

身寄りのない高齢者が、住み慣れた地域で最期まで安心して生活ができるよう、終活に関する相談対応をはじめ、契約者への見守りや安否確認サービスの提供、また預託金をお預かりした上で、入退院時の支払い代行や死後の葬儀、納骨、家財処分、行政官庁への届け出等に関する支援を実施した。

①実 績

- ・相談延べ件数 428 件（実相談者数 134 人）
- ・契約件数 6 件
- ・契約者総計 7 人

②説明会・研修会への出張

月 日	対象者	内 容
6/19	地域包括支援センター 第 3 圏域事業所職員	テーマ：ひらかた縁ディングサポート事業について
8/18	第 28 回社会保障審議会福祉部会（オンライン）	テーマ：身寄りのない高齢者等の生活上の課題に対応するためのモデル事業の取組状況、現在検討中の新たな事業に関する意見や実施に際して課題と考えられること
9/25	地域包括支援センター 第 4 圏域事業所職員	テーマ：縁ディングサポートの概要と支援内容、成年後見制度に関する相談窓口「こうけんひらかた」について
10/8	京都信用金庫枚方支店 利用者	テーマ：「誰でも安心！今日から始める終活セミナー」～お墓、税金、法律の各項目とひらかた縁ディングサポート事業について～
2/16	枚方市内の医療、介護専門職及び司法関係者	テーマ：「つなぐ専門家 合同勉強会」～身寄りのない高齢者の支援で悩んでいませんか？現場の悩み、ここで解決～

③視察対応件数 19 件

④広報・啓発活動

(ア) 広報ひらかた及び社協だよりに P R 記事掲載

(広報ひらかた 4月号/社協だより 6月号)

(イ) 啓発資材の作成と配布	パンフレット	600部
	チラシ	4,000枚

19. 総合福祉会館福祉相談・福祉情報提供事業

枚方市立総合福祉会館4階の図書コーナーにて福祉関係図書の貸出や返却を含める管理業務と各種福祉情報の提供業務に加え、福祉相談業務を実施した。スタッフは全員障害当事者を配置し、相談業務における技術向上のため研修を行った。

(1) 福祉相談業務

開室日	346 日
年間来所者	4,084 人
相談件数	20 件

※相談件数が昨年よりも少し増加している。ピアカウンセリングを希望する人が一定数おり、スタッフに相談することで前向きな気持ちにつながっている。

(2) 福祉情報提供業務

福祉図書やビデオ・DVDの貸出、返却

図 書	貸出	735 冊
	返却	763 冊
	廃棄	0 冊
ビデオ DVD	貸出	0 本
	返却	0 本
	廃棄	0 本
新規登録者（貸出利用者登録）		52 人

- ・ひらかた社協ふくしフェスティバルにおいてスタンプラリーを実施したことで、図書コーナーの存在を来場者へ広く周知することができた。
- ・ラポールひらかた 1 階および玄関前に図書コーナーの宣伝ポスターを掲示し、来館者の視認性を高めた。
- ・社協だより 12 月号に図書コーナー紹介記事を掲載するとともに、YouTube 動画の撮影を行い、紙面には紹介動画へアクセスできる 2 次元コードを掲載した。これにより、市民が紙面と動画の双方から情報を得られるよう周知を図った。

(3) 福祉図書の購入

福祉、医療、環境等をテーマにした図書および雑誌、新聞の購入・購読

種 類	
福祉関連書籍	39 冊
コミックス	15 冊
雑誌	2 種類（月間福祉他）
新聞	2 部（日刊紙・福祉新聞）

(4) 研修

障害当事者スタッフの相談業務に関する研修

月 日	内 容	対 象
3/20	「ピアサポーターって何？～心の病を持った方たちの話を聞いてみませんか？～」 講師：ピアサポーター等 4 人 コーディネーター：籠本 孝雄 氏 地域活動支援センター陽だまりが主催している研修へ参加した。	当事者スタッフ

20. 児童育成支援拠点事業

児童育成支援拠点事業「こどもスペースふらっと」は、養育環境等に課題を抱える家庭や学校に居場所のない児童等に対して、児童及び家庭の状況をアセスメントし、関係機関へのつなぎを行う等の個々の児童の状況に応じた支援を包括的に提供することにより、虐待を防止し、子どもの最善の利益の保障と健全な育成を図ることを目的として令和 6 年 10 月に開設。枚方市まるっと子どもセンターが利用を認定した利用者を対象に、日常生活習慣の形成や学習のサポート、食事の提供等を行った。

利用者支援にあたっては枚方市まるっと子どもセンター担当者やスクールソーシャルワーカーなどと連携を取り、必要に応じて保護者への情報共有などを行った。

(1) 開所日数

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242

(2) 登録者数

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
小学生	7	11	11	13	13	13	13	13	13	13	13	14	147
中学生	5	5	5	5	6	8	8	8	8	8	8	8	82
高校生	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	5	52
計	15	19	19	21	24	26	26	26	26	26	26	27	281

(3) 利用者数

(単位：人) ※延べ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
小学生	2	18	43	70	95	76	77	47	58	83	59	78	706
中学生	26	17	22	30	9	25	32	27	34	36	24	23	305
高校生	20	21	18	20	16	20	22	17	21	19	18	20	232
計	48	56	83	120	120	121	131	91	113	138	101	121	1,243

(4) 支援内容

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ①安全・安心な居場所の提供 | ⑤課外活動の提供 |
| ②生活習慣の形成 | ⑥学校、医療機関、地域団体等の関係機関との連携 |
| ③学習の支援 | ⑦保護者への情報提供、相談支援 |
| ④食事の提供 | |

(5) イベントの開催

(単位：人)

開催月日	内 容	参加者数
4月 4日	お花見ウォーキング	5
5月16日	4～6月 合同お誕生日会	9
6月13日	カレーライスで親睦会	11
7月22日	ふらっと縁日	10
9月26日	7～9月 合同お誕生日会	9
11月26日	10～12月 合同お誕生日会	14
12月25日	枚方市総合文化芸術センターコラボ アートイベント「心のタネを咲かせよう」	8
12月26日	クリスマス会	12
1月 6日	新春おもちつき大会	10
1月21日	1～3月 合同お誕生日会	12
3月11日	チョコイベント	7
計		107

2 1. 総合福祉会館管理運営事業

障害者や高齢者などの生活支援に必要な情報提供や、各施設等の貸し出しなどを通じ、市民の福祉活動やボランティア活動等を支援した。令和 7 年度は ESCO 事業で省エネルギー設備導入の大規模な改修工事が行われた。照明設備や誘導灯全ての照明設備を LED に交換し、空調設備等の省エネルギー化が図られた。また、太陽光発電設備を設置し電力量の削減を目指す。

(1) 開館日数

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
日 数	29	30	29	30	30	29	30	29	26	27	27	30	346

12/28 ESCO 事業による改修工事の為臨時休館

(2) 部屋別利用状況

①有料室

(単位：件)

室 名	午 前	午 後	夜 間	合 計	稼働率(%)
研修室 1	164	213	67	444	42.8
研修室 2	171	167	154	492	47.4
研修室 3	155	185	92	432	41.6
研修室 4	114	140	78	332	32.0
集会室	140	167	51	358	34.5
和室	90	121	21	232	22.4
大研修室	169	247	58	474	45.7
保育室	21	28	8	57	5.5
作業室	53	84	42	179	17.2
日常生活訓練室	59	56	10	125	12.0
合 計	1,136	1,408	581	3,125	30.1

②無料室

(単位：件)

室 名	午 前	午 後	夜 間	合 計	稼働率(%)
ミーティングルーム 1	237	241	185	663	63.9
ミーティングルーム 2	228	232	181	641	61.8
ミーティングルーム 3	254	205	65	524	50.5

福祉団体共用ルーム	177	223	72	472	45.5
福祉情報製作室	97	51	2	150	14.5
録音室	3	1	0	4	0.4
合 計	996	953	505	2,454	39.4

③施設見学受入状況

(単位：件・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
件 数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
人 数	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10

④登録団体の状況

登録団体数	109 団体
-------	--------

(内訳) 障害者団体：55 団体／ボランティア団体：47 団体／その他団体：7 団体（法人団体等）

⑤温水プール事業

(ア) 開業日数と利用区分別の利用状況

4/5～4/19 設備故障の為臨時休業

11/16～12/5 12/28 ESCO 事業による改修工事の為臨時休業

開業日数 (単位：日)		利用者の区分 (単位：人)				月 計
		4～14 歳	15～64 歳	65 歳以上	障害者	
4 月	12	111	373	351	540	1,375
5 月	26	295	980	836	1,215	3,326
6 月	25	523	1,209	868	1,398	3,998
7 月	25	738	1,619	962	1,582	4,901
8 月	26	731	1,783	976	1,651	5,141
9 月	24	360	1,353	973	1,437	4,123
10 月	26	183	1,140	1,219	1,452	3,994
11 月	12	58	436	620	572	1,686
12 月	18	88	552	727	747	2,114
1 月	23	149	801	995	1,008	2,953
2 月	23	145	882	975	1,056	3,058
3 月	25	173	1,144	1,090	1,277	3,684
年計	265	3,554	12,272	10,592	13,935	40,353
		(8.8%)	(30.4%)	(26.3%)	(34.5%)	(100.00%)

(イ) 水泳教室等の開催状況 (単位：回／人)

教 室	開 催 期 間	開催回数	参加者数 (延べ)
しっかり泳ごう 障害者水泳 (中学生以上)	5/18	1	10
	12/21	1	11
泳ぎを習得 障害者水泳 (中学生以上)	11/16	(△1) 0	熱源工事の為中止
	2/15	1	10
障害児ファミリー水泳 9・10 月開催分は 発達支援児ファミリー水泳に名称変更	5/17 ～ 6/28	7	127
	9/13 ～ 10/25	7	159
障害児(者)ファミリー水泳 (小学生以上)	7/12 ～ 8/23	7	179
障害児 (者) 水泳(初級)(小学生以上)	1/17 ～ 2/28	7	118
障害児(者)水泳(中・上級)(小学生以上)	3/7 ～ 3/28	4	48
高齢者初級水泳	1/14 ～ 2/25	7	83
初心者水泳	5/14 ～ 6/25	7	65

	9/10 ~ 10/22	7	110
	11/5 ~ 12/17	(△7) 0	熱源工事の為中止
中級水泳	5/16 ~ 6/27	7	90
	1/16 ~ 2/27	7	101
アクアウォーキング	5/15 ~ 6/26	7	181
	9/11 ~ 10/23	7	178
	11/6 ~ 12/18	(△7) 0	熱源工事の為中止
	1/15 ~ 2/26	7	174
水中体操	5/15 ~ 6/26	7	169
	9/11 ~ 10/23	7	193
	11/6 ~ 12/18	(△7) 0	熱源工事の為中止
	1/15 ~ 2/26	7	183
アクアビクス	5/15 ~ 6/26	7	115
	7/10 ~ 8/21	7	165
	9/11 ~ 10/23	7	137
	11/6 ~ 12/18	(△7) 0	熱源工事の為中止
	1/15 ~ 2/26	(△1) 6 ボイラー故障 の為1回中止	65
サポート水泳①	5/14 ~ 6/25	7	71
	9/10 ~ 10/22	7	100
	11/5 ~ 12/17	(△7) 0	熱源工事の為中止
	1/14 ~ 2/25	7	87
サポート水泳②	5/16 ~ 6/27	7	104
	9/12 ~ 10/24	7	98
	11/7 ~ 12/19	(△7) 0	熱源工事の為中止
	1/16 ~ 2/27	7	91
エンジョイ水中運動	5/14 ~ 6/25	7	120
	7/9 ~ 8/20	7	120
	9/10 ~ 10/22	7	120
	11/5 ~ 12/17	(△7) 0	熱源工事の為中止
	1/14 ~ 2/25	7	115
リフレッシュ（講座）	年 7 回	7	143
スイミングセミナー	4/20	(△1) 0	設備故障の為中止
	6/15	1	18
	9/21	(△1) 0	花火大会開催の為中止
	10/19	1	13
	1/18	1	12
	3/15	1	16
チャレンジ水泳	7/30, 31, 8/1	3	48
	3/25, 26, 27	3	41
合 計		(△53) 226	3, 988

(3) 車いす貸し出し状況

(単位：台・件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
貸出件数(件)	7	11	16	9	19	24	20	9	4	4	7	10	140
貸出台数(台)	7	11	16	10	19	26	21	12	5	4	7	11	149

※車いす総保有台数 5 台（自走車 3 台、介助車 2 台）

(4) 各種事業の開催

①福祉（いきいき）講座

(単位：人)

月 日	内 容	出席数(延べ)
10/3～ 10/31 (全5回)	◎健康体操教室 (対象：60歳以上) 関西医科大学看護学部学生による健康講座 ・認知症について正しく知ろう(10/10) ・命を守るために今日から始めていただける地震への備え(10/17) ・ニュースポーツ(モルック)の紹介(10/24) 健康体操 「脳・心・体の三方良しの健康体操～」 講師：健康運動指導士 康本 貞恵 氏	170
2/13～ 3/13 (全5回)	◎椅子に座ってストレッチ (対象：高校生以上の市民) 講師：(特活)日本YOGA連盟 先川 秀子 氏	58

②市民講座

(単位：人)

月 日	内 容	出席数(延べ)
5/9～ 6/27 (全8回)	◎はじめてのヨガ教室 (対象：高校生以上のヨガ初心者) 講師：(特活)日本YOGA連盟 先川 秀子 氏	112
5/12～ 6/30 (全8回)	◎はじめての太極拳教室 (対象：高校生以上の太極拳初心者) 講師：大阪武術太極拳連盟 A級指導員 岸本 康宏 氏	198
7/29 (全1回)	◎小学生対象夏休み工作教室 (対象：小学生) ペットボトルを使ったランタン作り・コルクコースターに絵を書いて 世界に一つのオリジナルを作成 講師：会館職員	7
10/8～ 11/12 (全6回)	◎はじめてのヨガ教室(夜間コース) (対象：高校生以上の市民) 講師：荒尾 千恵子 氏	54
10/27 (全1回)	◎災害時の食事について (対象：高校生以上の市民) 「災害時にお家にある食品で食事を作ってみませんか？」 講師：ひらかた地域活動栄養士会 栄養アドバイザー「萌」 飯垣 千佳子 氏、濱上 和代 氏、亀井 佐代子 氏	29
1/29～ 2/12 (全3回)	◎はじめてのヨガ教室(夜間コース) (対象：高校生以上の市民) 講師：荒尾 千恵子 氏	30
3/3 (全1回)	◎街歩き (対象：18歳以上の市民) 「街あるきをしながら、枚方の歴史をまなびましょう」 講師：枚方観光ボランティアガイドの会 植村 由美子 氏、札谷 全啓 氏	25
3/16 (全1回)	◎楽10体操 (対象：18歳以上の市民) 「青空の下、楽10体操をしましょう」 講師：枚方スポーツ協会より派遣 倉田 智栄子 氏	13

③ボランティアセンターとの共催事業

手作りおもちゃ講習会、ボランティア講座を開催(詳細は、ボランティア活動推進事業に掲載)

11/14～ 12/5 (全4回)	◎初めての手話教室(災害時に役立つ) (対象：手話が初めての人、災害ボランティアに関心のある人) 講師：ボランティアグループSLGあおぞら 大橋 三郎 氏	75
-------------------------	---	----

④ラポールいこいのミニライブ開催状況

各グループ・サークルが日頃の練習成果を披露し、観客と膝と膝を合わせた一体感ある手作りライブ・市民交流の場となるように、1 階正面玄関ロビーを開放。併せて総合福祉会館の利用を促し、新たな利用者の開拓に努めた。

*開催状況

月	回数	内 容
4 月	17 回	春の交通安全キャンペーン
5 月		※出演希望者なしの為、休演
6 月		ハワイアン演奏
7 月		リコーダー演奏
8 月		※猛暑の為、休演
9 月		キーボード・マンドリン演奏 アコースティックギター弾き語りデュオ、秋の交通安全キャンペーン
10 月		アコーディオン演奏
11 月		アコーディオン演奏 キーボード・マンドリン演奏
12 月		アコーディオン演奏
1 月		リコーダー演奏 アコーディオン演奏 金管中低音アンサンブル
2 月		アコーディオン演奏 キーボード・マンドリン演奏
3 月		アコーディオン演奏 オカリナ演奏

(5) HUG 共同事業体会議

3/18 ・各団体の状況報告と HUG 共同事業体としての 5 年間の総括。

(6) 研修事業等の実施

職員の資質並びに利用者サービスの向上・安全管理の面から下記の研修会を実施。
また、関係機関が実施した研修会等にも参加した。

5/13～5/14 防火管理者研修
7/18 AED 講習会
11/18 個人情報保護研修（これだけは意識しておきたい個人情報）
11/27 消防訓練（総合訓練）
3/11 消防訓練（部分訓練）
3/12 障害者差別解消法研修